

写

前橋市教育委員会告示第18号

前橋市教育委員会12月定例会を次のとおり招集します。

平成30年12月14日

前橋市教育委員会

教育長 塩 崎 政 江

記

1 日 時 平成30年12月19日（水） 午前9時30分

2 場 所 市役所11階南会議室

3 付議事件

(1) 議案第28号 前橋市子ども読書活動推進計画（第三次）策定について

平成30年12月定例教育委員会提出事項

1 教育長報告

2 提出議案

議案番号	件名	所管課
28	議案第28号 前橋市子ども読書活動推進計画（第三次）策定について	図書館

3 その他

- (1) 行事について (総務課)
- (2) 前橋・高崎連携文化財展の開催について (文化財保護課)
- (3) 平成30年度「まえばし教育の日事業」の実施結果について (学校教育課)
- (4) 平成30年度「学区別教育懇話会」の実施結果について (学校教育課)
- (5) 第71回前橋市成人祝の開催について (青少年課)
- (6) 「ふれあい図書館まつり」の開催結果について (図書館)

# 議 事 日 程 第 1 号

前橋市教育委員会 12月定例会  
平成30年12月19日(水)  
午前9時30分開議

第1 会期の決定

第2 会議録署名委員の指名

第3 教育長提出の諸報告

第4 教育長提出議案の付議

(1) 議案第28号 前橋市子ども読書活動推進計画(第三次)策定について

第5 そ の 他

(1) 行事について

(2) 前橋・高崎連携文化財展の開催について )

(3) 平成30年度「まえばし教育の日事業」の実施結果について

(4) 平成30年度「学区別教育懇話会」の実施結果について

(5) 第71回前橋市成人祝の開催について

(6) 「ふれあい図書館まつり」の開催結果について

教育委員会議案第28号

前橋市子ども読書活動推進計画（第三次）策定について

前橋市子ども読書活動推進計画（第三次）を次のとおり策定しようとする。

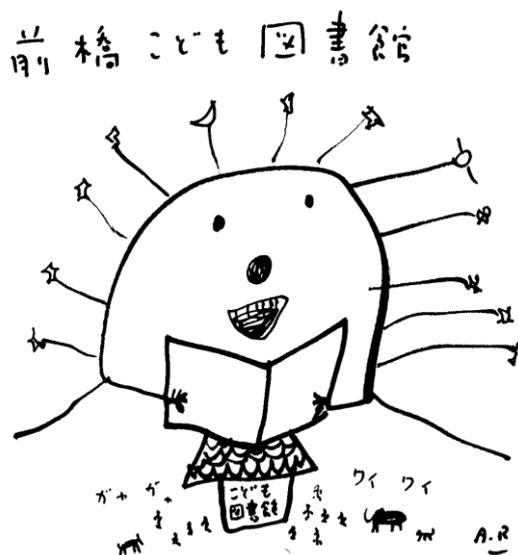
平成30年12月19日提出

前橋市教育委員会  
教育長 塩 崎 政 江

前橋市子ども読書活動推進計画(第三次) (案)

つなげよう 読書のわ

みんなにとどけ 本のちから



前橋市教育委員会

表紙のイラストは、絵本作家の荒井良二氏と市内在住の子どもたちが、こども図書館の壁に壁画を描くワークショップを開催した際、荒井良二氏がこども図書館をイメージしたイラストを色紙に描いてくださったものです。

－ 目 次 －

第1章	はじめに	1
1	計画策定にあたり	
第2章	第二次計画の取組状況	3
1	主な取組と成果	
2	子ども読書の現状	
3	国の動向	
4	今後の課題	
第3章	第三次計画の基本方針	9
1	理念	
2	目的	
3	目標	
4	方針	
5	計画の期間	
6	計画の対象	
第4章	子ども読書活動推進のための方策	11
1	家庭・地域における子ども読書活動の推進	
(1)	家庭	
(2)	地域	
2	学校等における子ども読書活動の推進	
(1)	幼稚園・保育所（園）・認定こども園	
(2)	小学校・中学校	
(3)	高等学校	
(4)	特別支援学校	
3	図書館における子ども読書活動の推進	
第5章	関係機関との連携による子ども読書活動の推進	21
資料編		

## 第1章 はじめに

### 計画策定にあたり

前橋市子ども読書活動推進計画策定委員会では「前橋市子ども読書活動推進計画（第三次）」（以下「第三次計画」という。）の策定にあたり、改めて前橋市の子どもたちの読書の実態を把握するため、アンケートを実施することとしました。アンケートの結果では、各（学生）年代に渡り本を読む子どもが全国平均よりも多いことがわかりました。本市の策定委員会の委員それぞれの想像を超える内容となり、これまでの取組に納得の得られる結果であると感じました。

この結果は、これまでの第一次計画に続く第二次計画において、市の関係各課、学校、地域、家庭及び関係団体・機関が連携して「本と子どもたちが人をつながる」事業を推進してきた成果であると、大きな自信になりました。同時に、この取組を絶やさず、継続していく必要性を改めて強く認識しました。

一方で、少ないながらも本に触れる事のない子どもたちが存在することも事実です。本計画は、こうした現状を踏まえ、これまで読書に親しむ機会が少なかった子どもたちにも読書活動が広がるよう多角的な視点から事業を推進することを基本に、平成31（2019）年度から平成35（2023）年度までの新たな行動計画とするものです。

さらに、これまでも様々な分野で子どもたちの社会教育活動をご支援いただいた関係団体である前橋市読み聞かせグループ連絡協議会や国、県、NPO等子どもたちの活動団体の取組との連携を一層強化することにより、より効果的な推進が図れるとの思いを計画に盛り込んでいます。

そこで、第三次計画では、ひとりでも多くの子どもたちが本に触れ、本に親しむことができるよう、読書をする子どもたちの広がりを一層推進することとし、テーマを「つなげよう 読書のわ みんなにとどけ 本のちから」としました。

本計画が子どもの読書活動推進の道しるべとなるとともに、活動を推進してくださる皆さまの一助となることを願っています。

# つなげよう 読書のわ

## みんなにとどけ 本のちから

### 家庭・地域

子どもにとって最も身近な存在である保護者への啓発を行い、地域で活動するボランティア等と協力し、地域の全ての子どもや親子を対象として読書推進の意識を高めるよう取り組みます。



### 学校・幼稚園等

幼児・児童生徒が自ら本に親しむ習慣を身に付けられるよう、学校・幼稚園・保育所等において読み聞かせなどの取組を、すべての子どもたちに広がるよう充実させます。



## 連携 協力

### 図書館

本とふれあう機会の少ない子どもたちにも本を届けられるよう、関係機関と連携し、多彩なイベントやサービスを提供します。



### 関係機関

社会全体で子どもの読書活動の推進に取り組めるよう、関係機関が協働してそれぞれの良さを活かした読書活動の推進を図ります。



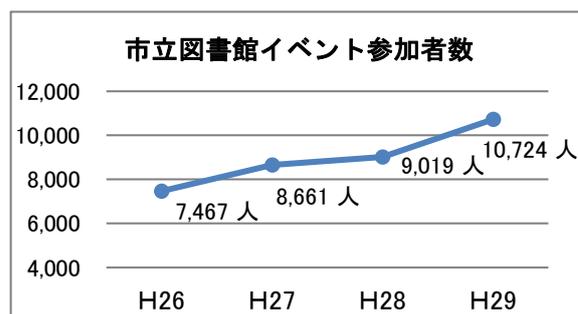
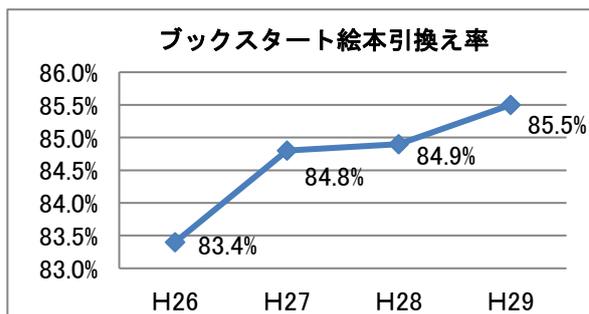
## 第2章 第二次計画の取組状況

第二次計画は、平成26年度から平成30年度までの5年間、「伝えよう 本のすばらしさを」をテーマに本市をはじめ関係団体・機関等で計画に取り組んでまいりましたが、その主な取組状況や成果と現状及び課題点は次のような状況でした。

### 1 主な取組と成果

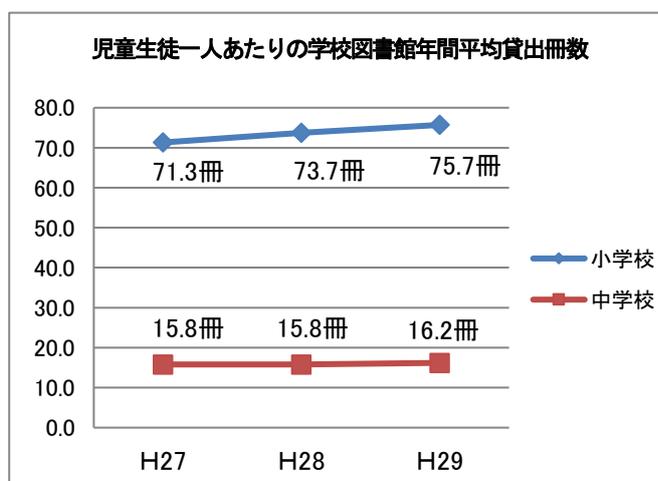
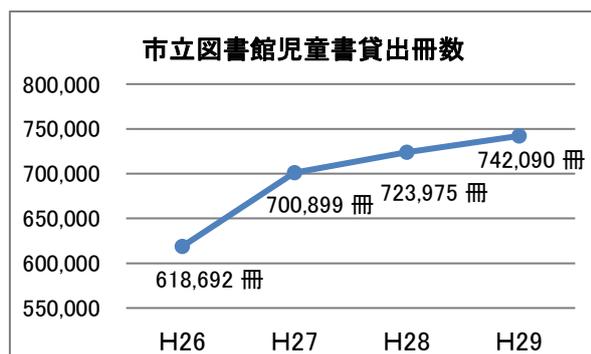
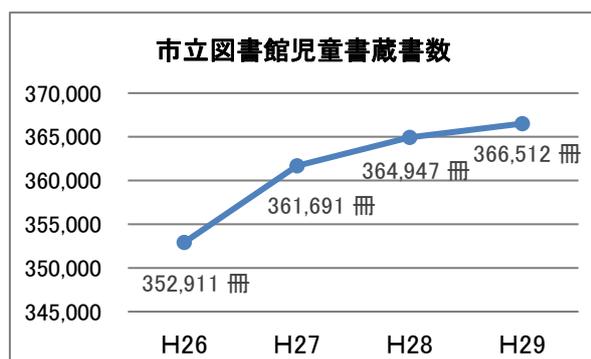
#### 取組の1 子どもが本と出会うために

- ・乳児に対しては、絵本を通して親と子がふれあい、絵本に親しむきっかけとなるよう、赤ちゃんに絵本を1冊プレゼントするブックスタート事業を実施しました。母子手帳交付時などに事業を紹介し、保健推進員やボランティアの協力により絵本の引換え率は、前年度を上回りました。
- ・乳幼児健診や健康教室などにおいて絵本の読み聞かせや紙芝居などを実施しました。また、図書館や公民館等の各施設において、前橋市読み聞かせグループ連絡協議会等と協力し、おはなし会などのイベントを開催し、読み聞かせの大切さ等について普及啓発に努めました。
- ・幼稚園・保育所（園）及び認定こども園において、保育の中で読み聞かせを実施するほか、誕生会や集会行事などで大型絵本、パネルシアター、人形劇なども取り入れ、絵本やおはなしへの興味や関心を高めました。
- ・市内の幼稚園・保育所（園）及び認定こども園が、こども図書館の実施している絵本セット団体貸出を利用し、子どもが施設にはない絵本と出会い、絵本やおはなしへの興味関心を広げるきっかけとしました。また、幼稚園・保育所等では、各部屋に子どもが自由に絵本を手にとれるようなスペースを設け、絵本に親しめる環境づくりを推進しました。
- ・幼稚園等では、保護者向けの読み聞かせ講演会を実施し、保護者に読み聞かせの大切さを伝え興味をもってもらえるよう努めました。さらに、地域の方や保護者から読み聞かせボランティアを募集し、読み聞かせを実施しました。
- ・公民館や図書館において、親子のふれあいや絵本を楽しむ体験を目的に読み聞かせ講座を開催するとともに読み聞かせボランティア養成講座等を開催し、ボランティアの育成や支援を進めました。



## 取組の2 子どもが主体的に本に親しむために

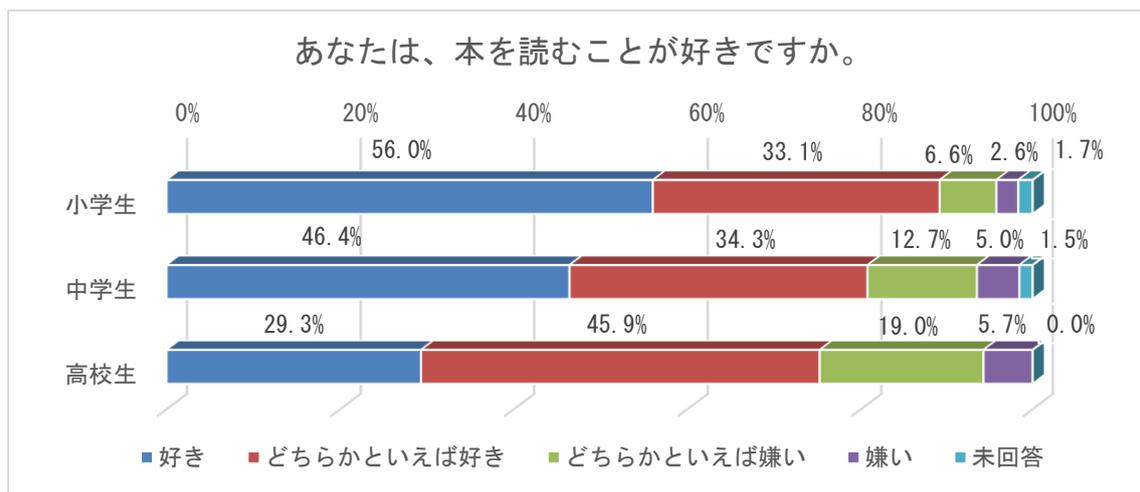
- ・園だよりやクラスだより、図書委員会からのおたよりなどを通し、子どもたちに人気のある絵本や年齢ごと季節ごとにおすすめの本を紹介し、保護者も子どもの興味関心をもった本にふれる機会を持てるようにしました。
- ・小学校1年生、中学校1年生へのブックリストの配布や、おすすめ図書などを市のホームページや図書館だよりに掲載するとともに、新刊本や話題の本などの展示を図書館や各施設の図書室等で行い、読書に対する興味・関心を高めるよう努めました。
- ・図書館や児童文化センターでは、中高生の職場体験の受入れや、図書館キッズ、サマーフレンズ事業等を実施し、本や図書館に親しめ、本を通して異年齢の子どもとふれあう機会を設けました。
- ・小学校1年生に図書館利用カードを配布するとともに「読書通帳」を併せて配布し、図書館の利用促進に努めました。また、児童書等の充実を図り、貸出利用者数及び貸出冊数の増加に努めました。
- ・学校図書館では、学校図書館推薦図書リストの作成や、公立図書館からの団体貸出を利用するなど、調べ学習等の授業での活用を推進しました。
- ・小中学校では、読書クイズや企画展等の読書イベントを開催し、児童生徒の読書への興味関心を高めるとともに、企画コーナーの設置や展示など、各校が工夫して図書館利用の増加に取り組み、児童生徒一人あたりの年間平均貸出冊数が増加しました。
- ・学校図書委員会では図書館だよりを作成し、子どもたち同士でおすすめ本を紹介したり、図書委員による読み聞かせやブックトークなどを企画・実施しました。また、読書感想文・感想画コンクールへの参加を呼びかけるなどして、主体的に本と親しむ読書活動を推進しました。



※平成29年度学校図書館運営に関する調査より

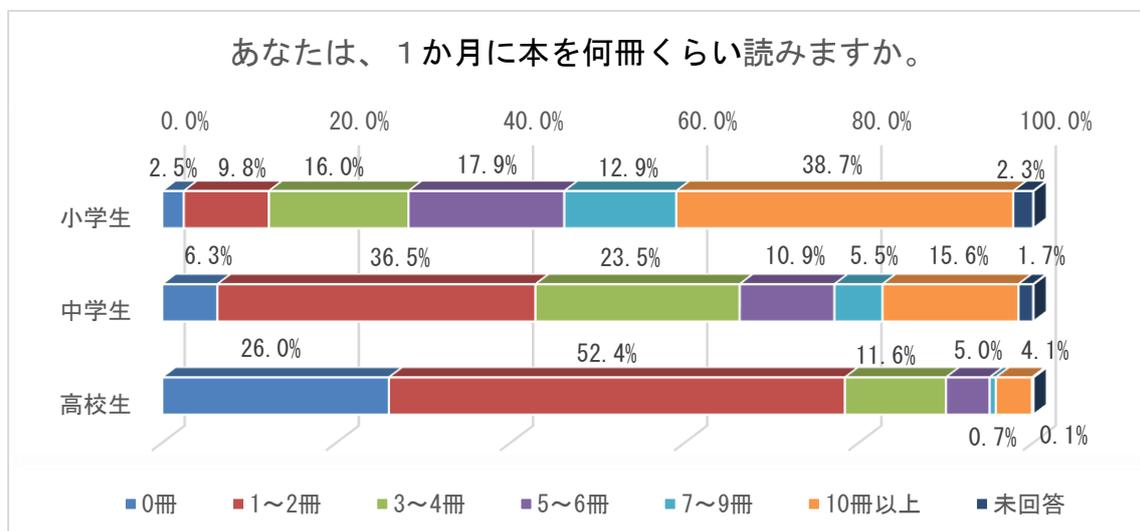
## 2 子ども読書の現状

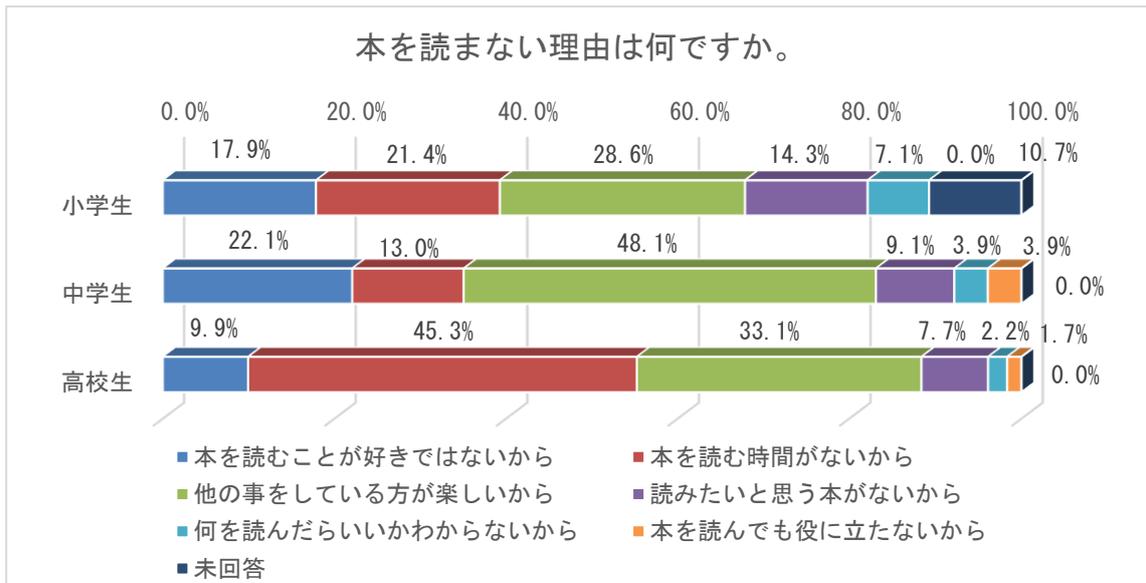
平成30年度に前橋市の児童生徒（市立小・中・高校）、保護者（幼稚園・保育所等、小・中学校）、施設（幼稚園・保育所等、市立小・中・高校）を対象に実施した読書活動に関するアンケート調査によると、小学生の89.1%、中学生の80.7%、高校生の75.2%が、読書は「好き」または「どちらかという好き」と回答しています。



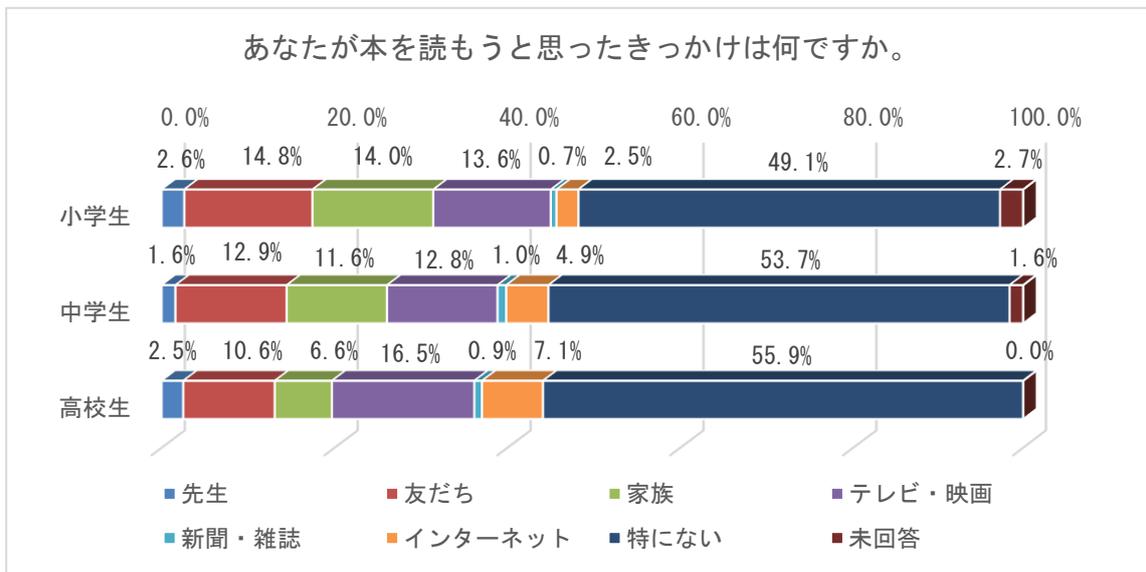
また、1か月に本を1冊以上読む割合は、小学生97.5%、中学生93.7%、高校生74.0%となっており、このうち1か月間に読む冊数の割合が最も高いのは、小学生では10冊以上38.7%、中学生では1~2冊36.5%、高校生では1~2冊52.4%となっています。一方、1か月間に1冊も本を読まなかった児童生徒（不読者）の割合は、小学生は2.5%、中学生は6.3%、高校生は26.0%となっており、成長に伴い読書冊数が減るとともに不読者の割合も高くなっています。

不読者に本を読まない理由を質問したところ、小・中学生は「他のことをしている方が楽しいから」が最も多く、高校生は「本を読む時間がないから」が最も多く、次いで「他のことをしている方が楽しいから」でした。小・中・高校生ともに、読書以外のことに時間を費やしており、高校生では、本を読む時間がなくなっている状況がうかがえます。



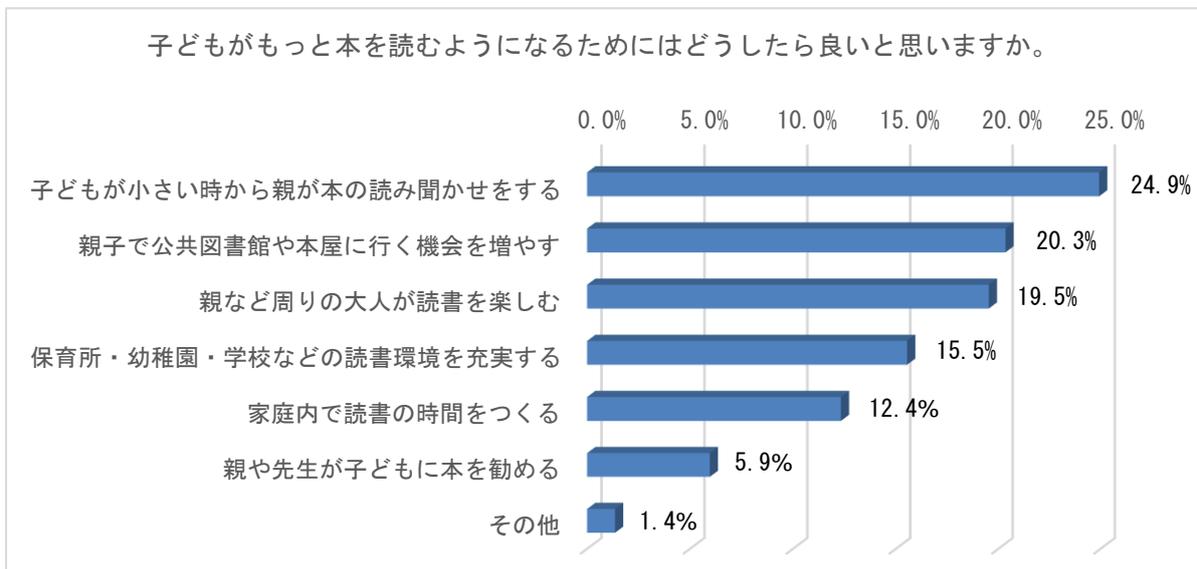
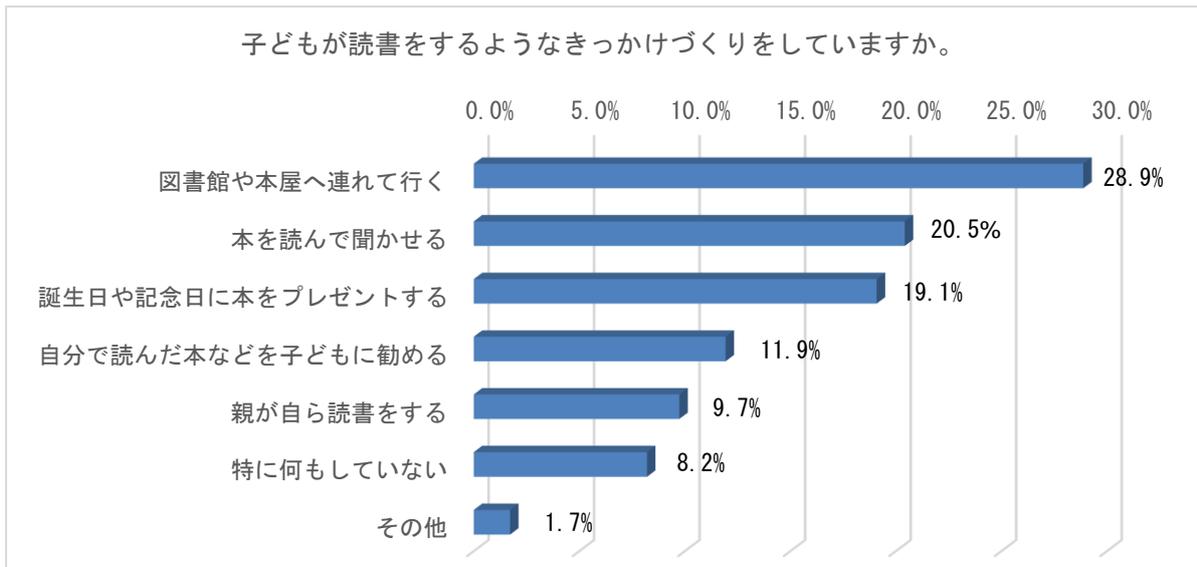


本を読もうと思ったきっかけを質問したところ、約半数が「特にない」と回答している一方で、小学生・中学生では「友だち」の推薦が最も多く、次いで「家族」や「テレビ・映画」がきっかけとなっています。高校生では「テレビ・映画」が最も多く、次いで「友だち」と回答していることから、友だちや家族の影響を受けていることがうかがえます。



18歳以下の子どもを持つ保護者に、子どもが読書をするようなきっかけづくりをしているかと質問したところ、最も多くの方が「図書館や本屋へ連れて行く」、次いで「本を読んで聞かせる」と回答しており、子どもがもっと本を読むようになるためにはどうしたら良いかとの質問には、「子どもが小さい時から親が本の読み聞かせをする」と回答した人が最も多く、次いで「親子で公共図書館や本屋に行く機会を増やす」でした。

こうした結果から子どもに読書への興味をもってもらうには、保護者によるきっかけづくりが大切であるといえます。



### 3 国の動向

国は、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、子どもの読書活動の推進に関する基本理念を定め、この法律に基づき、平成14年には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定され、平成20年に第二次計画、平成25年に第三次計画、そして平成30年4月には第四次計画が閣議決定されました。第四次計画では、子どものいずれの世代においても第三次計画で目標とした進捗での改善は図られていないこと、特に高校生の不読率は依然として高いことを課題とし、読書習慣の形成に向けた発達段階ごとの効果的な取組の推進、友人同士で本を薦め合うなどの読書への関心を高める取組の充実、情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響に関する実態把握・分析等の取組を進めていくとしています。

また、平成26年には学校図書館法の一部を改正する法律が成立し、専ら学校図書館の職務に従事する職員として学校司書の法制化がなされるとともに学校司書への研修等の

実施について規定されました。さらに、平成29年に公示された新学習指導要領には言語能力の育成を図るために学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の自主的・自発的な読書活動を充実することが規定され、子どもの読書活動の課題解決に向けた新たな取組が進められています。

## 4 今後の課題

子どもが本と出会うために、読み聞かせやおはなし会などの様々なイベント等を通してきっかけづくりに取り組んできましたが、保護者や地域の大人が乳幼児期から読書の楽しさを体験することの大切さ、読み聞かせ等の重要性を理解し、読書が好きな子どもがさらに増えるよう、保護者等への啓発活動を推進していく必要があります。

また、中学生・高校生へと年齢が上がるにつれ読書離れの傾向があるため、年齢が上がっても本や読書に興味・関心を持ち続けられるよう、子どもの発達段階に応じた読書習慣の定着に向け更なる読書活動の推進が求められています。子どもが1か月に1冊も読書をしない割合(読書の不読率)は、全国平均(平成29年度)は小学生5.6%、中学生15.0%、高校生50.4%となっています。本市の状況はアンケート結果によれば、小学生2.5%、中学生6.3%、高校生26.0%となっており、全国平均よりもよい結果となっていますが、中高生の不読率はまだ高い傾向にありますので、引き続き、子どもたちへの読書推進を図っていく必要があると考えています。

加えて近年では、スマートフォンやタブレット端末等の急速な普及に伴い子どもの生活環境に変化が見られ、インターネットを利用した調べものや電子書籍の利用など子どもの読書環境にも大きな影響を与えている可能性があります。国の動向をみながら、本市においても今後の課題と捉えていきたいと考えます。

新学習指導要領では、学校図書館は、子どもたちの成長に重要な役割を担っているとされています。各教科・領域での学習活動において学校図書館をより一層活用することにより、子どもたちにとってより身近な存在となることが期待されます。

さらに、子どもの読書活動を効果的に推進していくためには、民間団体をはじめ、学校等の教育機関、公民館等の社会教育施設や国・県等の関係公共団体が別々に読書活動を行うのではなく、連携体制を築き各事業への相互支援や情報提供、各種連携事業のより一層の充実を図る必要があります。

## 第3章 第三次計画の基本方針

### 1 理念

読書は、知識を深めるだけでなく、語彙力や言語能力、表現力を高める効果があり、また、集中力、想像力を養い、感受性を豊かにし、相手の気持ちを理解しようとするコミュニケーション能力を高めてくれます。人生をより深く生きる力を身につけていくうえで欠くことのできないもので、読書は子どもの将来を左右する基礎を築くものの一つであるとも言われています。子どもが読書の楽しさを知り、自主的な読書活動を行うことができるよう積極的に環境を整えていく必要があります。

前橋市子ども読書活動推進計画の第一次計画では、子どもたちが「本との出会いを広げ心豊かに」成長していくことを願い、第二次計画では、子どもが主体的に本に親しむことを目標に、テーマを「伝えよう 本のすばらしさを」として本と子どもたちをつなげる「人」の役割を重視して取り組んでまいりました。

第三次計画では、これまで読書に親しむことが出来なかった子どもたちにも読書活動が広がるよう「つなげよう 読書のわ みんなにとどけ 本のちから」をテーマとして、子どもの読書活動の更なる推進に取り組みます。

### 2 目的

前橋市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成21年3月に第一次となる「前橋市子ども読書活動推進計画」を、さらに、その成果等を整理し平成26年11月には第二次計画を策定し、子どもの読書活動推進に取り組んでまいりました。この度、平成30年度をもって第二次計画の計画期間が満了することから、第二次計画の取組・成果と課題及び国の動きを反映させた第三次計画を策定し、本を読む子どもをさらに広げるなど更なる子どもの読書活動の推進を図ります。

### 3 目標

子どもたちに読書の楽しさや大切さを知ってもらえるよう、また、自ら本に手を伸ばす子どもが育つよう、家庭・地域・学校・図書館・関係機関などが連携して、「読書が好き」な子どもをより広く育成し、1か月に1冊も本を読まない子どもの割合を減らします。

## 4 方針

本計画は、次の基本方針に基づき推進していきます。

### (1) 家庭・地域における子ども読書活動の推進

子どもたちが日々の暮らしの中で本と出会える環境づくりや、読書の喜びや楽しみを実感できる読み聞かせなど、親子で取り組む読書活動を推進し、読書をする子どもの裾野を広げてまいります。また、これまで進めてきた本と子どもたちをつなげていく「人」とのかかわりを大切に育み、地域の活動と一体となった読書活動を推進します。さらに、これまで本に関心の少なかった家庭や保護者に子どもの読書活動の意義と必要性についての理解を求めするため、周知啓発に努めます。

### (2) 学校等における子ども読書活動の推進

幼稚園・保育所等において、子どもたちとその保護者を対象とし、読み聞かせの大切さを伝えて行く取組を広めていきます。

新学習指導要領に基づき、子どもたちの主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすため、学校図書館を計画的に利用し、その機能の活用を図ります。また、読書の習慣を身に付けられるよう、子どもの成長に応じた読書の方法や本を読むことの楽しさを学校図書館から発信します。

### (3) 図書館における子ども読書活動の推進

子ども読書活動の拠点として、子どもの発達の状況に応じた蔵書の充実を図るとともに、これまで図書館を利用しなかった人たちに足を運んでもらえるよう、本との出会いや読書の楽しみを知る機会を提供します。さらに、学校や幼稚園・保育所等、ボランティア団体などが利用しやすい環境を整え、団体等による読書活動を支援します。

### (4) 関係機関との連携による子ども読書活動の推進

学校、幼稚園・保育所等の教育機関、公民館等の社会教育施設及び国、県等の関係公共団体並びに民間団体等と図書館が相互に連携・協力を図ることで、子どもの読書活動を効果的に推進します。

## 5 計画の期間

平成31（2019）年度から平成35（2023）年度までの5年間とします。

## 6 計画の対象

概ね18歳以下の子どもとします。

## 第4章 子ども読書活動推進のための方策

### 1 家庭・地域における子ども読書活動の推進

#### (1) 家庭

子どもの読書習慣は、日常の家庭生活を通して成長とともに形成されていきます。子どもが読書習慣を身に付けるためには、子どもにとって最も身近な存在である保護者が、子どもの読書に理解と関心を持ち、子どもが本に親しめる環境づくりに積極的に関わることが大切です。そのためには、保護者も読書をするのが重要です。

図書館等では、家庭における読書活動を推進するため、保護者を対象とした読み聞かせ講座の開催や、子どもが好きな本のリストや新刊案内などの情報を発信し、保護者が定期的に読書の時間を設けたり、家族で読書の習慣づけを行ったり、親子で楽しく子どもの読書に関われるよう取組を進めていきます。

事業	事業内容	区分	担当部署
マタニティセミナー・パパママ教室で絵本等の紹介	・ブックスタートでお渡しする絵本の紹介、胎教におすすめのCDリストやこども図書館の紹介をします。	新規	子育て支援課
ブックスタート事業の推進	・赤ちゃんに絵本を1冊プレゼントするブックスタート事業を推進していきます。母子手帳交付時にブックスタート事業の紹介を行い、窓口にチラシ等を設置し周知します。関係機関や保健推進員と連携し、家庭を訪問して引換券の配布を行います。 ・ボランティアにより絵本の引換え時に読み聞かせ等を実施し、フォローアップ事業としておはなし会を開催します。 ・引換期限1か月となった場合には引換え場所を増やし引換え率の向上に努めます。	拡充	子育て支援課 図書館
親子を対象とした健診等で絵本の紹介	・ひよこクラス（生後2～3か月児とその親）で読み聞かせの時間を設け、ブックスタート事業を紹介し引き換えできる絵本の紹介とそのうち1冊の読み聞かせを行います。	継続	子育て支援課
親子を対象とした健診等での読み聞かせ	・1歳6か月児健診、2歳児歯科健診の待ち時間で保育士が親子に絵本の読み聞かせや紙芝居等を実施します。 ・5歳児健診で園所訪問時、行動観察後に園児に絵本の読み聞かせを実施します。 ・パンダクラス（健康相談に来所した親子）では、親子遊び後に絵本や大型絵本の読み聞かせを実施します。	継続	子育て支援課

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すこやか健康教室（地域からの要望）では、講座内容により絵本等で読み聞かせを実施します。</li> <li>・おくちげんき教室（各園所）では、歯科衛生士が紙芝居等で読み聞かせを実施します。</li> <li>・こども発達支援センターの早期療育支援事業（遊びの教室）では、プログラムにより絵本の読み聞かせをそれぞれ実施します。</li> </ul>		
--	--	--	--



ブックスタート事業



乳幼児健診にて読み聞かせ

## (2) 地域

各地区の公民館や児童文化センター、児童館など地域の子どもの対象とした施設や歴史資料館等では、子どもの読書活動を推進するために様々な活動を行っています。地域で活動するボランティアグループ等と協力し、地域での子育てに対する意識を高めるような取組を進める中で、子どもと保護者が読書に親しむ機会を提供します。

事業	事業内容	区分	担当部署
子育て中の親を対象とした読み聞かせ講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館主催の子育て、親子支援事業において、乳幼児を持つ親に対し、子育てに活かすことができる絵本の選び方や読み聞かせの大切さ、素晴らしさを伝える講座を開催します。また、発達の段階に応じて読書を通じた親子のふれあいをテーマとした内容を取り上げます。</li> </ul>	継続	生涯学習課
子育て支援者を対象とした読み聞かせ講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子育てをするという意識の向上やボランティア活動の支援を目的に、公民館主催の子育て、親子支援事業において、読み聞かせの方法等を学ぶ講座を開催します。</li> </ul>	継続	生涯学習課
文化祭等のイベントでの読書活動啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントで絵本の読み聞かせ等を行うことで、親子だけでなく地域の方に対しても子どもの読書活動に理解と関心を持つことを促します。</li> </ul>	継続	生涯学習課

ボランティア団体との連携と活動支援	・ボランティア団体の読書関連事業を積極的に活用することにより、活躍の場を提供することで、活動の支援を行います。	継続	児童文化センター 生涯学習課 子育て施設課
子ども読書推進のための地域団体等への周知啓発	・地域団体や自主学习グループ等に対し、研修会や勉強会に読み聞かせ講座を取り入れるよう働きかけ、読み聞かせや子どもの読書活動の大切さを学び、知ってもらうことで、読み聞かせ等が子育て中の親への支援や孫育ての一助となることを理解し、地域での子育てに対する意識を高めます。	継続	生涯学習課
あらゆる機会に、読み聞かせを実施	・春まつり、秋まつりなどのイベント時に読み聞かせ、紙芝居、人形劇などを行い、絵本や本にふれあう機会の創出を進めます。 ・日々、年齢に応じた絵本等の紹介などを行い、来館者親子への読書推進を図ります。	継続	児童文化センター 子育て施設課
学生ボランティア・職場体験の受け入れ	・中学生・高校生が職場体験等において、停本所の仕事について学ぶ中で、異年齢の子どもに絵本の読み聞かせや紙芝居などを行います。	継続	児童文化センター 子育て施設課
おすすめ本の紹介・展示コーナーの設置	・年齢や発達に応じたおすすめ図書リストの作成、ポップカードなどによる図書の紹介、子育て支援関連図書の紹介などにより、本を選ぶ際の手助けをします。 ・新刊本、作家別の絵本や芥川賞・直木賞などの各種コーナーを設置し、来館者の興味・関心を高めるような工夫をします。 ・科学・文化芸術活動や環境保全活動など、施設と関連した本を充実させるとともに、展示を工夫するなど各種活動との相互作用が図れるようにします。	継続	児童文化センター 子育て施設課



生涯学習フェスティバル おはなし会



児童文化センターにて読み聞かせ

## 2 学校等における子ども読書活動の推進

### (1) 幼稚園・保育所（園）・認定こども園

幼稚園・保育所などに通う子どもたちは、幼少期という心も身体も著しく成長する時期を過ごしています。多くの幼稚園・保育所等では、この時期に絵本や物語に出会い読書の楽しさを知ることができるよう、子どもたちに絵本や物語に親しむ機会を提供しています。

絵本やおはなしの読み聞かせなどの取組をより充実させ一人一人の幼児が興味をもてるようにするとともに、様々な保護者に対しても読み聞かせの楽しさや大切さを伝えていく取組を広めていきます。

事業	事業内容	区分	担当部署
あらゆる機会に読み聞かせを実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の保育の中で読み聞かせを実施するとともに、生活の中で、保護者・保育士などとのふれあいを大切に、幼い時期から絵本に出会えるようにしていきます。</li> <li>・誕生会や集会などで大型絵本や紙芝居、仕掛け絵本などの読み聞かせを行います。</li> </ul>	継続	幼児教育センター 子育て施設課
幼稚園教諭、保育士対象の研修会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会に参加し、乳幼児が絵本、劇遊びなどに親しむ環境づくりについて学びます。資質向上を図り、絵本の楽しさをよりよく伝えられるようにしていきます。</li> </ul>	継続	子育て施設課
親子読書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月間絵本を個人用に定期購読し、園や家庭で活用します。</li> </ul>	継続	幼児教育センター
絵本の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本セット団体貸出を利用することやPTA有価物回収の収益などにより学級用の月間絵本を購入し、絵本の充実を図ります。</li> </ul>	継続	幼児教育センター 子育て施設課
子どもと本をつなぐ支援とネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向けの読み聞かせ講演会を実施し、併せて読み聞かせボランティアを募集します。</li> <li>・ボランティアなどにより、降園前に読み聞かせを実施します。</li> </ul>	継続	幼児教育センター
ボランティア団体との連携、読み聞かせ推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体の読み聞かせ事業を活用し、絵本に触れることで、保育の充実を図ります。</li> </ul>	継続	子育て施設課
こども図書館の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども図書館を訪問し、興味のある絵本の貸出を利用します。また、関心のある事柄を幼児なりに調べる経験をします。</li> </ul>	継続	子育て施設課



保育士研修会



ボランティアによる読み聞かせ

## (2) 小学校・中学校

小学校・中学校においては、それぞれの発達の状況に応じて、児童生徒が自ら読書に親しむ読書習慣を身に付けさせることが非常に重要です。そのため、全校一斉読書や読み聞かせなどの取組を引き続き推進していきます。また、児童生徒に読書の楽しさを伝えたり、選書の相談にのったりできるような学校司書等の指導者を配置します。児童生徒が主体的・意欲的に読書活動や学習活動に取り組める環境づくりをさらに進めていきます。

事業	事業内容	区分	担当部署
あらゆる機会に読み聞かせを実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会等の学級活動や教科指導の一環として、担任及び教科担当が読み聞かせを行います。また、全校集会や学年集会等の集会活動でも読み聞かせを行います。</li> <li>・児童生徒が校内や校外で、また、図書委員会の児童生徒が、学校図書館、各教室及び昼の放送にて、読み聞かせを行います。</li> <li>・地域の人や保護者ボランティアを募り、朝読書の時間などにおいて学校で読み聞かせ会を行います。</li> </ul>	継続	学校教育課
児童生徒が本を手に取りたくなるような環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や発達に応じたおすすめ図書リストや教職員が選ぶおすすめ図書リストを作成し、配布します。</li> <li>・授業や朝の会及び図書委員会活動等で、おすすめの本を紹介します。</li> <li>・授業に関連した図書資料（図鑑、同じ著者の作品、シリーズもの等）を教室に展示します。</li> <li>・季節や行事に応じた特設展示コーナーや学習内容及び社会で話題になっていることに関連した展示コーナーを設置します。</li> </ul>	継続	学校教育課
授業における読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本を読んだ感想を文章に書き、本を読み、思ったことや考えたことを友達と話し合い伝え合う活動を取り入れた学習を行います。</li> <li>・本の紹介箱や帯、ポップ、ポスター等を作り、おすすめの本を紹介する等、本に親しむ機会を増やすような活</li> </ul>	継続	学校教育課

	<p>動を取り入れた学習を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックトークやストーリーテリング*、ビブリオバトル等を授業で行います。</li> </ul>		
児童生徒が主体的に本と親しむ読書活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会で、本を使ったクイズ等の企画運営や、図書委員によるブックトークやレファレンスサービスなど、図書委員会の活動を充実させます。</li> <li>・読書感想文及び読書感想画コンクール等への参加を呼びかけ、多読賞を表彰することで、児童生徒の読書への関心と意欲を高めます。</li> </ul>	継続	学校教育課
校内における学校図書館の活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で積極的に学校図書館を活用し、さらに調べ学習セット等を作成し、各学年・学級のニーズに応えます。</li> <li>・年度当初に、各学年・学級で学校図書館オリエンテーションを実施し、図書の分類や探し方の学習を行います。</li> <li>・図書館業務従事臨時職員が児童生徒とやりとりしながら、本を選ぶ手助けをします。</li> </ul>	拡充	学校教育課
学校図書館の物的・人的整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の学校における貸し出し人気作品のリストを毎年更新し、市内の学校で共有します。また、貸し出し人気作品リストを活用し、各教科等のニーズを集約することなどにより、蔵書の充実を図ります。</li> <li>・市立図書館や県立図書館の学校支援事業を活用します。</li> <li>・学校司書として、学校図書館業務従事臨時職員を配置します。</li> <li>・読書活動や教科指導における学校図書館の活用等の教職員研修を開催し、司書教諭や学校司書のスキルアップ及び学校間の連携強化を図ります。</li> </ul>	拡充	学校教育課
保護者に親子読書の良さ・楽しさを伝える啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便りや図書館便り等の広報を家庭に配布して読書の啓発を行い、さらに読書月間や読書週間などの取組や、おすすめの本等の情報提供をします。</li> </ul>	継続	学校教育課

\* ストーリーテリングとは 語り手が物語を覚えて、聞き手に語ること



朝読書の時間



学校フェスタ おはなし会

### (3) 高等学校

高校生は知的興味に応じ、一層幅広く多様な読書ができるようになりますが、スマートフォンの普及やコミュニケーションツールの多様化等により子どもを取り巻く情報環境が大きな変化を見せており、インターネットを利用した調べものや電子書籍の利用が増える一方で、中学生から高校生へと進むにつれ読書離れの傾向が現れるなど子どもの読書環境は大きく変化しています。これまでの継続的な読書活動に加え、様々なメディアや情報を活用し生徒が多忙の中でも読書に関心を持てるような事業の充実を図ります。

事業	事業内容	区分	担当部署
生徒が主体的に本に親しむ読書活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会により図書室だよりを毎月発行し、生徒や教員のおすすめ本や新着本の紹介などを行います。</li> <li>・年1回発行の図書館報には、生徒や教員による寄稿や生徒が作成したPOPなどを掲載し、生徒の読書への関心が高められるよう努めます。</li> <li>・図書委員会交流会に参加し、市内の県立高校との交流を深め、ビブリオバトルなどの読書活動を推進します。</li> </ul>	継続	学校教育課
読書情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新着本コーナーや話題の本などの特設コーナーを設置し、生徒が興味関心を持ち、新たな本と出会えるような機会を提供します。</li> </ul>	継続	学校教育課
授業における読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で、本を読んだ感想や自分の変化を表現し、友達に伝えるなどの本に親しむ活動を行います。</li> <li>・学校図書館を活用した学習指導の充実を図ります。</li> </ul>	継続	学校教育課



学校図書館



新着本コーナー

#### (4) 特別支援学校

特別支援学校において、特別な支援を必要とする児童生徒が豊かな読書活動を体験できるよう、一人一人のニーズに応じた図書館資料の整備を図るとともに、関係機関と連携し、児童生徒が主体的に本に親しめるような読書活動を推進します。

事業	事業内容	区分	担当部署
あらゆる機会に読み聞かせを実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会等の学級活動や教科指導の一環として、教員が随時読み聞かせを行います。</li> <li>・読み聞かせボランティアなどによるおはなし会の充実を図り、児童生徒が読書の楽しさを味わえるよう努めていきます。</li> </ul>	継続	学校教育課
児童生徒が本を手に取りたくなるような環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイルームに隣接した図書コーナーを授業で必要に応じて利用したり、児童生徒が休み時間に本を借りたりする場と機会を提供します。</li> <li>・児童生徒の興味関心に合わせて、教室内に本を用意して、児童生徒自ら本を手にとって読めるようにします。</li> <li>・市立図書館の団体貸出等の学校支援事業を活用し、図書の充実を図ります。</li> </ul>	拡充	学校教育課
児童生徒と本をつなぐ支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を対象とした読み聞かせ講座等を開催し、読書の楽しさや大切さを伝える機会とします。</li> <li>・教職員研修会を開催し、読み聞かせの方法など児童生徒が本に親しむ環境づくり等について学び、資質の向上に努めます。</li> </ul>	新規	学校教育課



図書コーナー



ボランティアによるおはなし会

### 3 図書館における子ども読書活動の推進

図書館は、様々な分野の本を豊富に備えており、子どもが読みたい本を選び、読書の楽しさを知ることができる場所となっています。読書の楽しさを伝えるためのおはなし会への参加ができること、必要な情報を調べること、知識を得ることのできる場所でもあります。また、保護者が子どもに読ませたい本を選択したり、子どもの読書について相談することができる場所です。

そのため、今後も子どもの発達の状況に応じた蔵書の充実を図ります。また、多彩なイベント等を開催し、利用者のニーズに応じた特色あるサービスを提供するとともに、読書離れの傾向にある中学生・高校生等に向けた支援を行います。

さらに、学校、幼稚園、保育所、ボランティア団体等の関係機関との連携を密にし、子どもの読書活動を推進します。

事業	事業内容	区分	担当部署
おはなし会や各種イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会をはじめとした本や図書館に親しむイベントを開催します。</li> <li>・各図書館で定期的に行っているおはなし会のほか、「子ども読書の日」や「読書週間」を中心に公共機関や民間団体等と協働し、創意工夫のあるイベントなどを開催します。</li> </ul>	継続	図書館
読書情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1年生・中学校1年生にブックリストを配付し、子どもの発達の状況に応じた読書案内を行います。また、推薦図書などのおすすめリストや読み聞かせボランティアのおすすめ本などを作成し、ホームページや図書館だより等で紹介します。</li> <li>・話題の本、季節やイベント等にあわせた展示を行い、子どもたちが新たな本と出会えるような機会を提供します。</li> </ul>	継続	図書館
学生ボランティア・職場体験の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の仕事を体験し、より本や図書館に親しめるよう、図書館キッズ、サマーフレンズ、こども図書館員体験事業等を実施します。</li> <li>・職場体験等においては、書架整理・貸出業務だけではなく、読み聞かせを行い異年齢の子どもとふれあい本のすばらしさを伝える機会とします。</li> </ul>	継続	図書館
障害のある子どもへのサービスや多文化共生への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向け点字図書や録音資料の収集など読書に親しめるようなサービスの充実に努めます。</li> <li>・日本語を母国語としない子どもが読書を楽しめるよう、また日本の子どもが多文化にふれる機会となるよ</li> </ul>	継続	図書館

	う、外国語で書かれた絵本や資料を収集し、外国語によるおはなし会を開催します。		
読書環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童書をはじめとした多様な図書資料の充実を図り、読書離れが懸念される中学生・高校生にとって魅力ある図書館づくりに努めます。</li> <li>・小学校1年生へ図書館利用カードを配布するとともに「読書通帳」を併せて配布し、図書館の利用促進に努めます。</li> </ul>	継続	図書館
子どもと本をつなぐ支援とネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせボランティア養成講座等を開催し、子どもたちに読書の楽しさや大切さを伝えていくうえで重要な役割を担っているボランティアを育成・支援します。</li> <li>・読み聞かせボランティアや専門職員を必要とする学校や幼稚園・保育所（園）等への支援を行います。</li> <li>・ボランティア登録制度を導入し、多様なボランティア活動を行うための機会や場所を提供します。</li> </ul>	拡充	図書館
子どもが主役となる事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがやりたいことを自ら企画し実施できるような機会を設け、子ども同士で行う読書活動等を支援します。</li> <li>・他校の生徒たちとの交流や、地域活動に参加できる活動の場として、同年代や異年齢の子どもたちへ読書の推進のきっかけづくりを仕掛ける機会を提供します。</li> </ul>	新規	図書館
子どもたちに寄り添う分館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分館において、地域の子育ての一環として、子どもを優先した時間を設けることにより子どもと保護者が一緒に楽しく本に親しむ場所を提供します。</li> </ul>	新規	図書館
学校図書館への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館における図書の選定や特設展示のテーマ設定等について連携・協力し、子どもたちに質の高い読書活動の機会を提供できるよう、協力体制の充実に努めます。</li> </ul>	新規	図書館



図書館サマー・フレンズ活動



図書館利用カード配付式

## 第5章 関係機関との連携による子ども読書活動の推進

学校、幼稚園・保育所等における子どもの読書活動をさらに支援するため、関係機関との一層の連携に努めます。また、新たに民間企業・団体等との連携により、社会全体で子どもの読書活動の推進に取り組めるようネットワークの充実を図ります。

事業	事業内容	区分	担当部署
学校や幼稚園・保育所（園）等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の希望する幼稚園、保育所（園）、認定こども園への絵本セット団体貸出の充実を図ります。</li> <li>・小学校・中学校等へ団体貸出を実施し、読書活動や調べ学習への支援を行います。</li> </ul>	継続	図書館 幼児教育センター 子育て施設課 学校教育課
ボランティア団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「前橋市読み聞かせグループ連絡協議会」をはじめとしたボランティア団体等と連携し、おはなし会や人形劇などの読書に親しむためのイベントを充実させるきっかけづくりを行います。</li> <li>・図書館や地域で活動している各団体等がスキルアップのため実施している研修会やボランティアの育成を支援します。</li> </ul>	継続	図書館 生涯学習課
公共機関・民間団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間団体等と連携し、イベントの開催や各種事業へのボランティアの派遣など、子どもの読書への関心を高める取組を推進していきます。</li> <li>・団体貸出の活用や読書関連イベントへの図書資料の貸し出し等により、あらゆるところで読書に親しむ環境づくりに努めます。</li> <li>・子どもの読書活動に関する情報の収集・提供に努め、国・県等の公共団体及びNPO等と連携しながら子どもの読書活動の意義等について、普及・啓発活動に取り組みます。</li> </ul>	継続	図書館
発達段階に応じた読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前橋市読み聞かせグループ連絡協議会等のボランティア団体やNPO教育支援協会北関東等の教育活動を行う団体、さらに国立赤城青少年交流の家等の社会教育施設など複数の団体が連携し、複合的な協力体制を築きながら幼児期から継続した読書活動を推進するとともに、保護者や地域の大人への啓発も含めた読書活動を推進します。</li> </ul>	拡充	図書館

	<p><b>【幼児期における読書活動】</b>  疑似体験により本を身近に感じ、家庭での読み聞かせを推進する活動を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本と体験を結ぶ事業</li> <li>・親の読み聞かせ講座</li> </ul> <p><b>【小学生等における読書活動】</b>  幅広いジャンルの本にふれ、本を通して意見や情報を発信し、協働して達成することの大切さを気付かせるような活動を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書館レポーター」事業</li> <li>・体験活動と本を結ぶ事業</li> <li>・ブックトークなど様々な形で本を紹介する事業</li> <li>・本づくりを体験する事業</li> </ul> <p><b>【中学生・高校生における読書活動】</b>  読書をする機会の少ない中学生・高校生に、違う視点で興味関心を啓発する活動や事業を通じてコミュニケーション力の育成の機会とする活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品や著者を知る事業</li> <li>・興味関心のある事をテーマとした本の塾議</li> </ul>	
--	---	--



前橋市読み聞かせグループ連絡協議会 事例発表会



NPO教育支援協会北関東主催 図書館レポーター事業



国立赤城青少年交流の家主催 体験の風



# 資料編

## 前橋市子ども読書活動に関するアンケート調査結果

### 1 調査目的

前橋市における子ども読書活動の実態を把握するとともに、読書活動推進の基礎資料とするため。

### 2 調査時期

平成30年7月～8月

### 3 調査概要

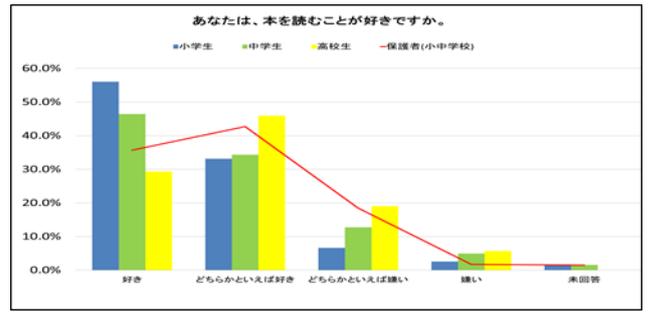
調査対象者	配付数	回答数	備考
小学校 4～6年生	1,162	1,135	市立小学校
中学校 1～3年生	1,293	1,232	市立中学校
高等学校1～3年生	713	699	市立高等学校
保護者	5,155	3,629	幼稚園・保育所(園)・認定こども園、市立小学校・中学校の保護者
施設	164	125	幼稚園・保育所(園)・認定こども園、小学校・中学校、市立高等学校、特別支援学校

### 4 調査結果

別紙のとおり

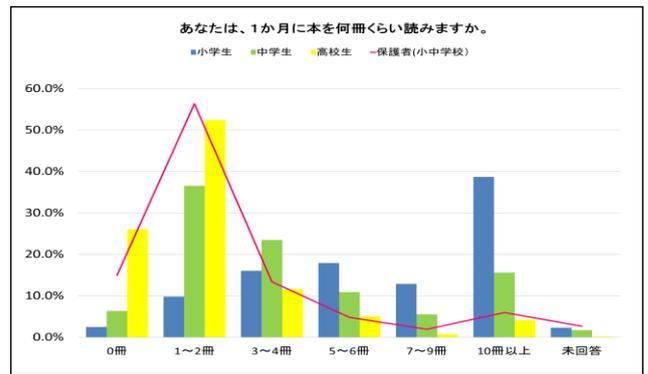
● あなたは、本を読むことが好きですか。

	小学生	中学生	高校生	保護者 (小中学校)
好き	56.0%	46.4%	29.3%	35.7%
どちらかといえば好き	33.1%	34.3%	45.9%	42.7%
どちらかといえば嫌い	6.6%	12.7%	19.0%	18.4%
嫌い	2.6%	5.0%	5.7%	1.7%
未回答	1.7%	1.5%	0.0%	1.5%



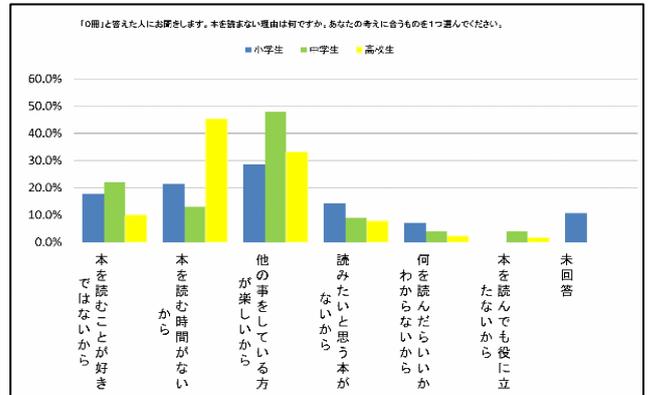
● あなたは、1か月に本を何冊くらい読みますか。

	小学生	中学生	高校生	保護者 (小中学校)
0冊	2.5%	6.3%	26.0%	14.9%
1～2冊	9.8%	36.5%	52.4%	56.3%
3～4冊	16.0%	23.5%	11.6%	13.4%
5～6冊	17.9%	10.9%	5.0%	4.8%
7～9冊	12.9%	5.5%	0.7%	1.9%
10冊以上	38.7%	15.6%	4.1%	6.0%
未回答	2.3%	1.7%	0.1%	2.7%



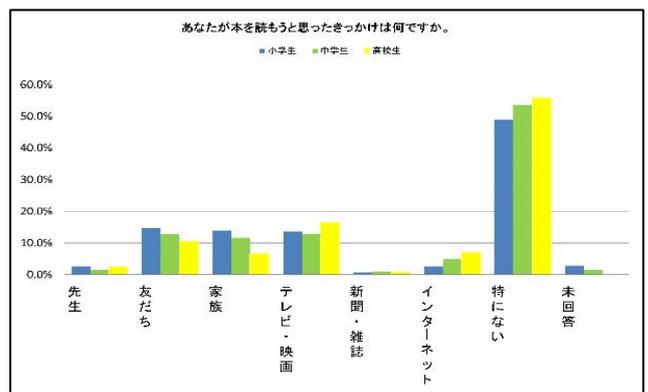
● 「0冊」と答えた人にお聞きします。本を読まない理由は何ですか。  
あなたの考えに合うものを1つ選んでください。

	小学生	中学生	高校生
本を読むことが好きではないから	17.9%	22.1%	9.9%
本を読む時間がないから	21.4%	13.0%	45.3%
他の事をしている方が楽しいから	28.6%	48.1%	33.1%
読みたいと思う本がないから	14.3%	9.1%	7.7%
何をを読んだらいいかわからないから	7.1%	3.9%	2.2%
本を読んでも役に立たないから	0.0%	3.9%	1.7%
未回答	10.7%	0.0%	0.0%



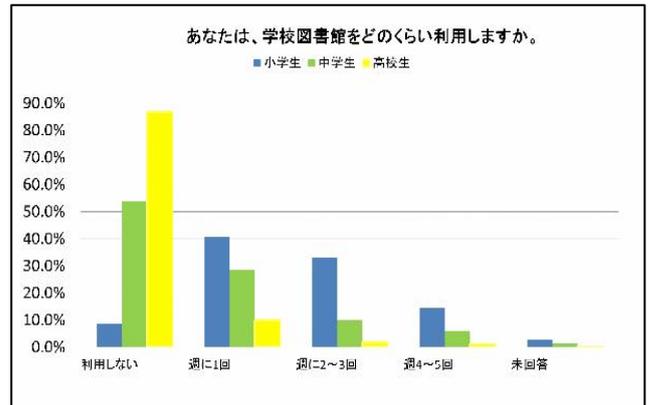
● あなたが本を読もうと思ったきっかけは何ですか。

	小学生	中学生	高校生
先生	2.6%	1.6%	2.5%
友だち	14.8%	12.9%	10.6%
家族	14.0%	11.6%	6.6%
テレビ・映画	13.6%	12.8%	16.5%
新聞・雑誌	0.7%	1.0%	0.9%
インターネット	2.5%	4.9%	7.1%
特にない	49.1%	53.7%	55.9%
未回答	2.7%	1.6%	0.0%



● あなたは、学校図書館をどのくらい利用しますか。

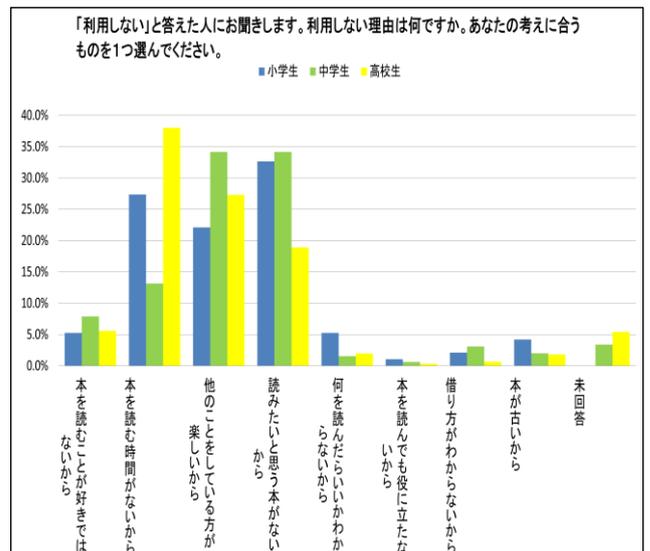
	小学生	中学生	高校生
利用しない	8.6%	53.9%	86.8%
週に1回	41.0%	28.6%	10.0%
週に2～3回	33.2%	10.2%	1.9%
週4～5回	14.6%	5.9%	1.1%
未回答	2.6%	1.5%	0.1%



● 「利用しない」と答えた人にお聞きします。利用しない理由は何ですか。

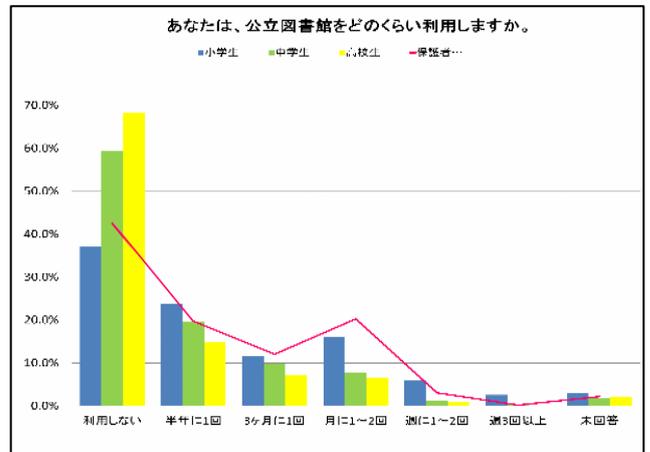
あなたの考えに合うものを1つ選んでください。

	小学生	中学生	高校生
本を読むことが好きではないから	5.3%	7.9%	5.6%
本を読む時間がないから	27.4%	13.1%	38.0%
他のことをしている方が楽しいから	22.1%	34.2%	27.3%
読みたいと思う本がないから	32.6%	34.2%	18.9%
何をを読んだらいいかわからないから	5.3%	1.5%	2.0%
本を読んでも役に立たないから	1.1%	0.6%	0.3%
借り方がわからないから	2.1%	3.1%	0.7%
本が古いから	4.2%	2.0%	1.8%
未回答	0.0%	3.4%	5.4%



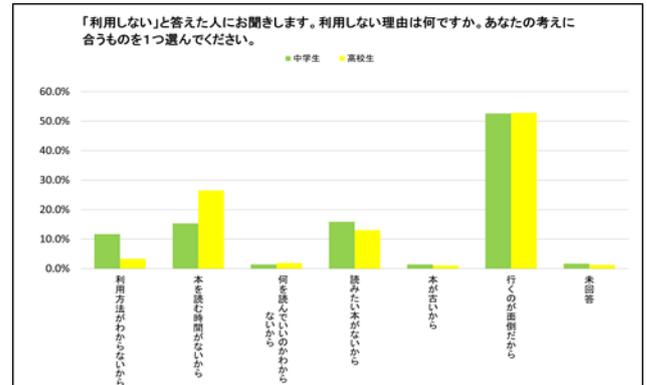
● あなたは、公立図書館をどのくらい利用しますか。

	小学生	中学生	高校生	保護者 (幼保こ小中)
利用しない	37.0%	59.4%	68.4%	42.5%
半年に1回	23.7%	19.5%	14.7%	19.8%
3ヶ月に1回	11.6%	9.8%	7.3%	12.0%
月に1～2回	16.1%	7.8%	6.4%	20.3%
週に1～2回	6.0%	1.3%	1.0%	3.1%
週3回以上	2.6%	0.3%	0.0%	0.2%
未回答	3.0%	1.9%	2.1%	2.2%



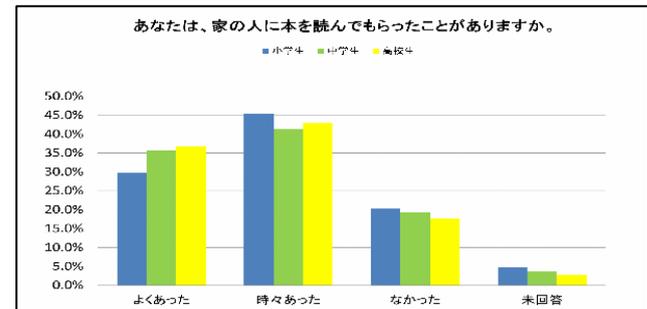
● 「利用しない」と答えた人にお聞きします。利用しない理由は何ですか。  
あなたの考えに合うものを1つ選んでください。

	中学生	高校生
利用方法がわからないから	11.7%	3.4%
本を読む時間がないから	15.3%	26.5%
何を読んでいいのかわからないから	1.4%	1.9%
読みたい本がないから	15.9%	13.1%
本が古いから	1.4%	1.1%
行くのが面倒だから	52.6%	52.8%
未回答	1.7%	1.3%



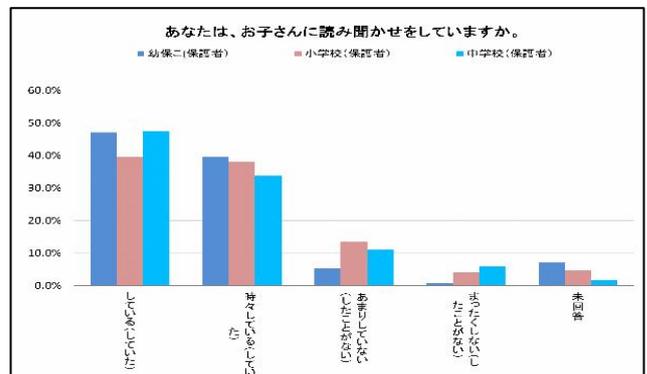
● あなたは、家の人に本を読んでもらったことがありますか。

	小学生	中学生	高校生
よくあった	29.7%	35.6%	36.7%
時々あった	45.3%	41.4%	42.8%
なかった	20.2%	19.4%	17.8%
未回答	4.9%	3.6%	2.7%



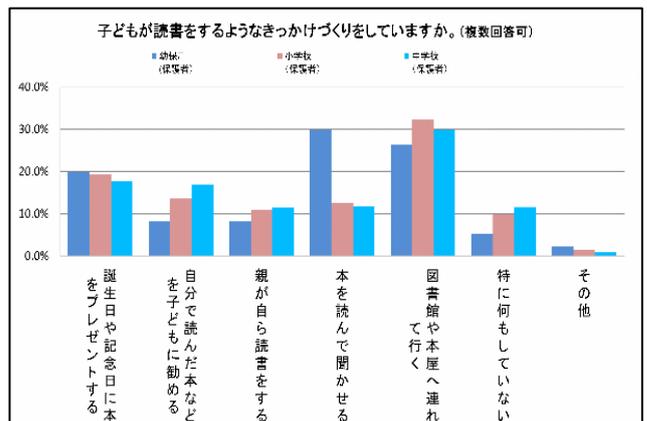
● あなたは、お子さんに読み聞かせをしていますか。

	幼保こ (保護者)	小学校 (保護者)	中学校 (保護者)
している(していた)	47.1%	39.5%	47.5%
時々している(していた)	39.6%	38.2%	33.7%
あまりしていない(したことがない)	5.4%	13.6%	11.2%
まったくしない(したことがない)	0.8%	4.0%	5.9%
未回答	7.2%	4.7%	1.7%



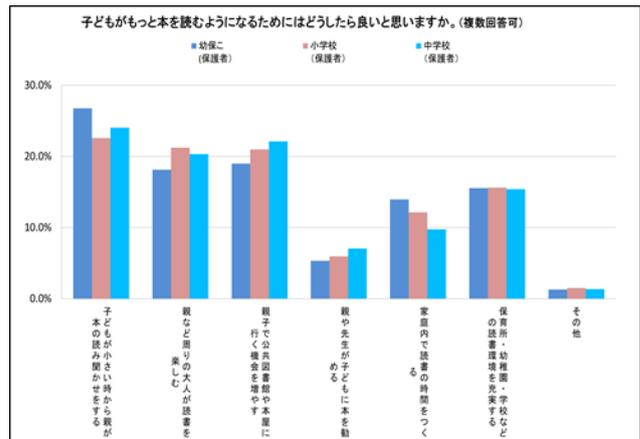
● 子どもが読書をするようなきっかけづくりをしていますか。(複数回答可)

	幼保こ (保護者)	小学校 (保護者)	中学校 (保護者)
誕生日や記念日に本をプレゼントする	19.9%	19.2%	17.6%
自分で読んだ本などを子どもに勧める	8.1%	13.6%	16.8%
親が自ら読書をする	8.2%	10.8%	11.4%
本を読んで聞かせる	29.8%	12.6%	11.7%
図書館や本屋へ連れて行く	26.3%	32.4%	29.8%
特に何もしていない	5.3%	9.8%	11.6%
その他	2.3%	1.5%	1.0%



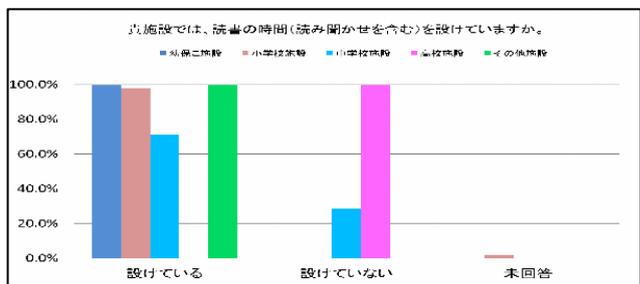
● 子どもがもっと本を読むようになるためにはどうしたら良いと思いますか。(複数回答可)

	幼保こ (保護者)	小学校 (保護者)	中学校 (保護者)
子どもが小さい時から親が本の読み聞かせをする	26.8%	22.6%	24.0%
親など周りの大人が読書を楽しむ	18.1%	21.2%	20.3%
親子で公共図書館や本屋に行く機会を増やす	19.0%	21.0%	22.1%
親や先生が子どもに本を勧める	5.3%	5.9%	7.0%
家庭内で読書の時間をつくる	14.0%	12.1%	9.7%
保育所・幼稚園・学校などの読書環境を充実する	15.5%	15.6%	15.4%
その他	1.3%	1.5%	1.3%



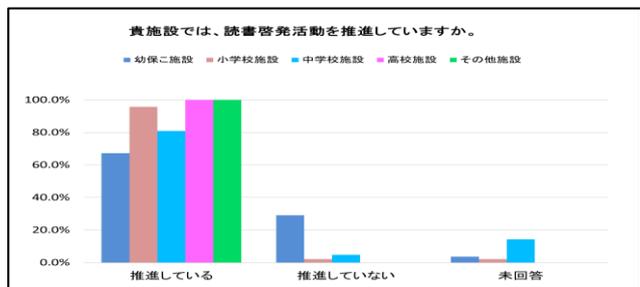
● 貴施設では、読書の時間(読み聞かせを含む)を設けていますか。

	幼保こ施設	小学校施設	中学校施設	高校施設	その他施設
設けている	100.0%	97.9%	71.4%	0.0%	100.0%
設けていない	0.0%	0.0%	28.6%	100.0%	0.0%
未回答	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%



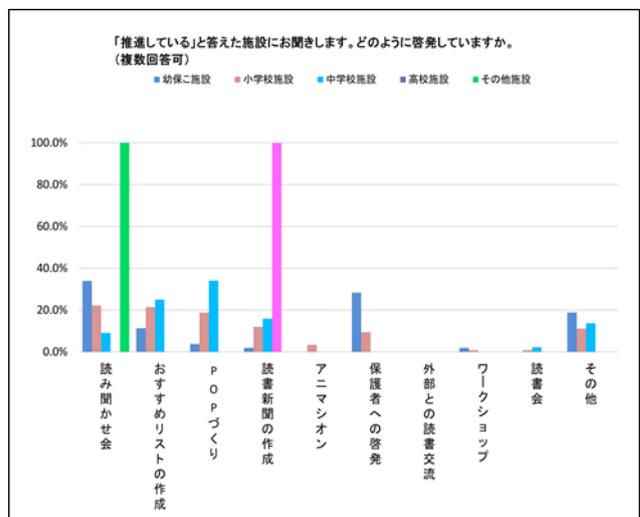
● 貴施設では、読書啓発活動を推進していますか。

	幼保こ施設	小学校施設	中学校施設	高校施設	その他施設
推進している	67.3%	95.7%	81.0%	100.0%	100.0%
推進していない	29.1%	2.1%	4.8%	0.0%	0.0%
未回答	3.6%	2.1%	14.3%	0.0%	0.0%



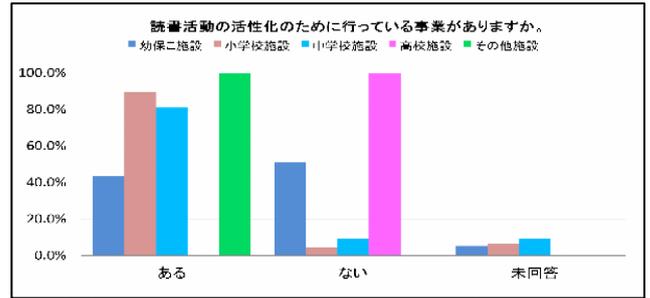
● 「推進している」と答えた施設にお聞きします。どのように啓発していますか。(複数回答可)

	幼保こ施設	小学校施設	中学校施設	高校施設	その他施設
読み聞かせ会	34.0%	22.2%	9.1%	0.0%	100.0%
おすすめリストの作成	11.3%	21.4%	25.0%	0.0%	0.0%
POPづくり	3.8%	18.8%	34.1%	0.0%	0.0%
読書新聞の作成	1.9%	12.0%	15.9%	100.0%	0.0%
アニメーション	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
保護者への啓発	28.3%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%
外部との読書交流	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ワークショップ	1.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
読書会	0.0%	0.9%	2.3%	0.0%	0.0%



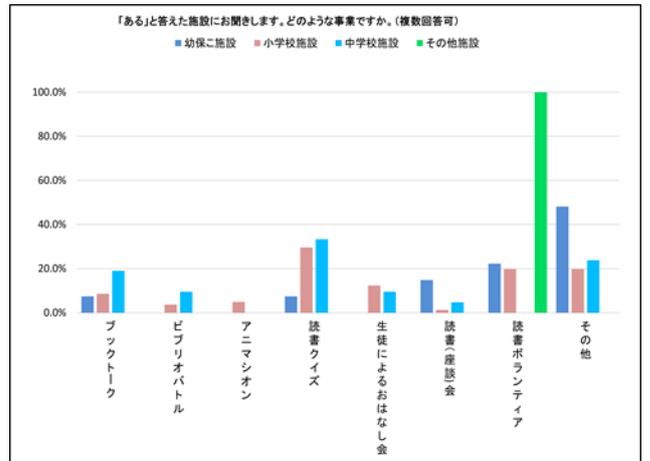
● 読書活動の活性化のためにやっている事業がありますか。

	幼保こ施設	小学校施設	中学校施設	高校施設	その他施設
ある	43.6%	89.4%	81.0%	0.0%	100.0%
ない	50.9%	4.3%	9.5%	100.0%	0.0%
未回答	5.5%	6.4%	9.5%	0.0%	0.0%



● 「ある」と答えた施設にお聞きます。どのような事業ですか。(複数回答可)

	幼保こ施設	小学校施設	中学校施設	その他施設
ブックトーク	7.4%	8.6%	19.0%	0.0%
ビブリオバトル	0.0%	3.7%	9.5%	0.0%
アニメーション	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%
読書クイズ	7.4%	29.6%	33.3%	0.0%
生徒によるおはなし会	0.0%	12.3%	9.5%	0.0%
読書(座談)会	14.8%	1.2%	4.8%	0.0%
読書ボランティア	22.2%	19.8%	0.0%	100.0%
その他	48.1%	19.8%	23.8%	0.0%



前橋市子ども読書活動推進計画（第三次）

つなげよう 読書のわ  
みんなにとどけ 本のちから

策 定 平成31年3月  
発行者 前橋市教育委員会事務局 図書館  
<https://www.tosyokan.city.maebashi.gunma.jp/>  
著作編集 前橋市子ども読書活動推進計画策定委員会  
連絡先 前橋こども図書館  
TEL 027-230-8833

# 教育委員会1月行事予定表

その他1

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担当課
1	火				
2	水				
3	木				
4	金	仕事始め			
5	土	新春おたのしみ会 冬の昔話・民話のおはなし会 紙芝居ライブ	11:00～12:00 14:00～15:00	前橋子ども図書館	図書館
6	日	新春おたのしみ会 リレーおはなし会	11:00～12:00 14:00～15:00	前橋子ども図書館	図書館
7	月	各学校(園)始業式 給食開始			
8	火				
9	水	平成30年度 前橋・高崎連携事業文化財展(～15日まで)	9:00～18:00	前橋プラザ元気21	文化財保護課
10	木				
11	金	前橋市教職員自作教材・教具展(～2月1日まで 日曜日・祝日は除く)	9:00～17:00 (土 9:00～12:00)	前橋市総合教育プラザ	総合教育プラザ
12	土				
13	日	第71回前橋市成人祝	12:00～13:50	ヤマダグリーンドーム前橋	青少年課
14	月	成人の日			
15	火	<b>教育委員会1月定例会</b>	<b>15:00</b>	<b>11階南会議室</b>	<b>総務課</b>
		市民の茶席	10:00～15:00	中央公民館5階茶室	生涯学習課
16	水				
17	木				
18	金				
19	土				
20	日				
21	月				
22	火	雛人形展示(3月3日まで)	9:00～17:00	臨江閣	文化財保護課
23	水				
24	木				
25	金	市小中学校書き初め作品展(～28日まで)	9:45～18:05 28日は15:00まで	前橋プラザ元気21	学校教育課
26	土				
27	日				
28	月				
29	火	第28回市中学校体育連盟表彰式	14:00	総合福祉会館	学校教育課
30	水				
31	木				

## 教育委員会2月行事予定表

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担当課
1	金				
2	土				
3	日				
4	月				
5	火				
6	水				
7	木				
8	金				
9	土				
10	日				
11	月	建国記念日			
12	火				
13	水				
14	木	まえばし保育教材展(～2月27日まで(日曜日を除く))	9:00～17:00 (27日正午まで)	総合教育プラザ	総合教育プラザ
15	金				
16	土				
17	日				
18	月				
19	火	教育委員会2月定例会	15:00	11階南会議室	総務課
20	水				
21	木				
22	金				
23	土				
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木				

平成30年度 前橋・高崎連携事業文化財展

『災害を乗り越えた先人たちー考古学からみた災害と復興の歴史ー』

開催要項

1 趣 旨

前橋・高崎連携事業文化財展は、平成19年度より両市の所有する文化財を広く紹介することにより、文化財の共有化と市民相互の文化意識の向上や、文化財への理解に寄与することを目的に実施しており、両市それぞれに会場を設け、毎年テーマを変えて継続開催している。

今年度は災害考古学をテーマとする。昨今の天災による災害や火事等の被害から防災への関心が高まる中、前橋・高崎市域でこれまでどのような災害が起こってきたのか、また先人たちはいかにしてこれらの災害を克服してきたのかを紹介する。これによって、「想定外」を乗り越え現代を生きる私たちの一筋の光となるような展示を実施する。

2 会場及び開催期間

(1) 前橋開催

会 場 : 前橋プラザ元気21 1階 にぎわいホール

開催期間 : 平成31年1月9日(水)～1月15日(火)

(2) 高崎開催

会 場 : 高崎シティギャラリー 2階 第6展示室

開催期間 : 平成31年1月19日(土)～1月28日(月)

3 主 催

前橋市・前橋市教育委員会、高崎市・高崎市教育委員会

4 後 援 (予定)

上毛新聞社、朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎、まえばしCITYエフエム等

5 主な展示内容 (予定)

- |          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 1 火山災害   | 女堀・南部拠点遺跡群4 (前橋)、下芝五反田遺跡 (高崎) |
| 2 地震災害   | 山王廃寺 (前橋)、棟高遺跡群3 (高崎)         |
| 3 風水害    | 前橋城 (前橋)、高崎情報団地Ⅱ遺跡 (高崎)       |
| 4 災害に備える |                               |

6 問い合わせ先

前橋市教育委員会事務局文化財保護課  
〒371-0853 前橋市総社町3-11-4  
TEL027-280-6511 FAX 027-251-1700

高崎市教育委員会事務局文化財保護課  
〒370-8501 高崎市高松町35-1  
TEL027-321-1292 FAX 027-328-2295



平成30年度 前橋・高崎連携事業文化財展

# 東国千年の都

## 災害を乗り越えた先人たち —考古学からみた災害と復興の歴史—

前橋会場

H31.1.9<sub>水</sub> ▶ 15<sub>火</sub>

午前9時 ▶ 午後6時

展示解説  
(申込不要)

1月14日(月・祝日)  
13時30分～1時間程度

高崎会場

H31.1.19<sub>土</sub> ▶ 28<sub>日</sub>

午前9時 ▶ 午後6時

展示解説  
(申込不要)

1月20日(日)・1月27日(日)  
両日とも13時30分～  
1時間程度

主催：前橋市・前橋市教育委員会、高崎市・高崎市教育委員会

後援 上毛新聞社／朝日新聞社前橋総局／毎日新聞前橋支局／読売新聞前橋支局／産経新聞前橋支局／東京新聞前橋支局／共同通信社前橋支局  
時事通信社前橋支局／NHK前橋放送局／群馬テレビ(株)／(株)エフエム群馬／(株)ラジオ高崎／まえばしCITYエフエム(順不同)  
写真：「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」(群馬県立歴史博物館提供)

入場無料

# 東国千年都

## 災害を乗り越えた先人たち —考古学からみた災害と復興の歴史—

今年度は災害考古学をテーマにしました。昨今の天災による災害や火事等の被害から防災への関心が高まる中、前橋・高崎市域でこれまでどのような災害が起こってきたのか、また先人たちはいかにしてこれらの災害を克服してきたのかを紹介いたします。浅間山・榛名山の噴火による被害や前橋城の度重なる河川氾濫による川欠けなど人々の生活を脅かし爪あとを残す災害を恐れ、祈り、抗うすべもなく逃げ惑い、そして、それでも生き延びてきました。この展示を通して「想定外」の災害を乗り越え、現代を生きる私たちの一筋の光となれば幸いです。



1 平安時代の大地震による地割れ(内堀遺跡群)  
2 榛名山火山灰泥流に埋もれたマツリ跡(下芝五反田遺跡)  
3 浅間山噴火軽石で埋もれた平安時代の竪穴住居と畠(下里見宮谷戸遺跡)  
4 岩神の飛石 / 5 塔を華やかに彩る塑像群  
6 噴煙をあげる浅間山(出典：国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所)

1	2	5
3	4	6

／ 入場無料 ／

### 前橋会場

問い合わせ先  
前橋市教育委員会事務局文化財保護課  
〒371-0853 前橋市総社町3-11-4  
TEL 027-280-6511 FAX 027-251-1700

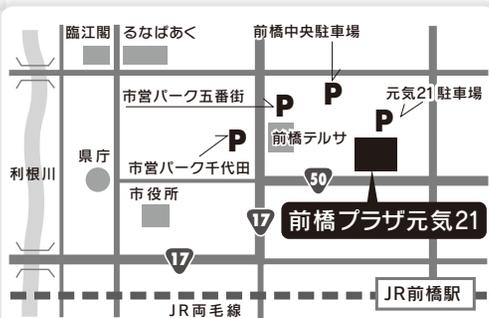
開催日時 平成31年1月9日[水] ▶ 1月15日[火]  
🕒 午前9時 ▶ 🕒 午後6時

場所 前橋プラザ元気21 1F [にぎわいホール] 前橋市本町2-12-1

電話 027-210-2273 (にぎわい商業課・土日祭休み)

#### アクセス

- 🚶 JR前橋駅から徒歩15分。
- 🚗 市民交流プラザ等駐車場(元気21専用駐車場)・市営パーク5番街・市営パーク千代田・市営パーク城東・前橋中央駐車場をご利用ください。(2時間まで無料)



／ 入場無料 ／

### 高崎会場

問い合わせ先  
高崎市教育委員会事務局文化財保護課  
〒370-8501 高崎市高松町35-1  
TEL 027-321-1292 FAX 027-328-2295

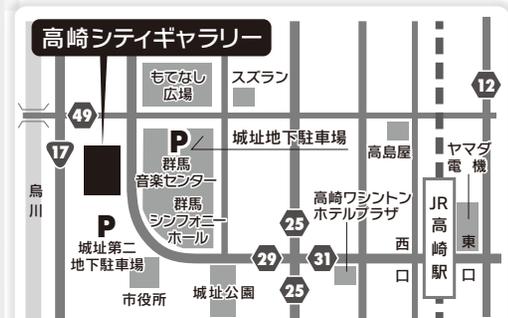
開催日時 平成31年1月19日[土] ▶ 1月28日[月]  
🕒 午前9時 ▶ 🕒 午後6時

場所 高崎シティギャラリー 2F 第6展示室 高崎市高松町35-1

電話 027-328-5050

#### アクセス

- 🚶 JR高崎駅から徒歩7分。
- 🚗 城址地下駐車場・城址第2地下駐車場をご利用ください。(来場者割引価格で30分迄ごとに80円。会場で来場証明の押印をいたします。)



平成30年度「まえばし教育の日」事業実施結果について



まえばし教育の日

1 実施期間 平成30年10月16日～平成30年11月15日

2 事業数

○各課主催 12事業

事業名	実施期日	会場	問合せ先
第41回前橋市民芸術文化祭 (自然趣味盆栽展)	平成30年10月19日(金)～ 21日(日)	昌賢学園まえばしホール (前橋市民文化会館) 大展示ホール	文化協会 (文化国際課)
前橋市中央公民館文化祭	平成30年10月20日(土)～ 21日(日)	中央公民館	中央公民館 (生涯学習課)
前橋市児童生徒理科研究発表会	平成30年10月21日(日)	前橋工科大学	学校教育課
第41回前橋市民芸術文化祭 (日本舞踊のつどい)	平成30年10月21日(日)	昌賢学園まえばしホール (前橋市民文化会館) 小ホール	文化協会 (文化国際課)
前橋市児童生徒音楽会	平成30年10月24日(水) 25日(木)26日(金)	昌賢学園まえばしホール (前橋市民文化会館) 大ホール	学校教育課
ふれあい図書館まつり	平成30年10月27日(土)～ 11月9日(金)(予定)	前橋市立図書館	図書館
こども秋まつり	平成30年11月 3日(土) 4日(日)	児童文化センター	児童文化センター
おはなし会	平成30年11月 3日(土)	前橋プラザ元気21 前橋こども図書館	図書館(こども図書館)
第41回前橋市民芸術文化祭 (趣味の彫塑工芸絵画展)	平成30年11月 9日(金)～ 11日(日)	昌賢学園まえばしホール (前橋市民文化会館) 大展示ホール	文化協会 (文化国際課)
市P連学区別教育懇話会	平成30年10月～11月	学区別会場 (7学区で実施)	学校教育課
地区公民館文化祭	平成30年10月～11月	各地区公民館 (15地区公民館で実施)	生涯学習課
Mキッズサミット	平成30年9月29日(土)～ 11月10日(土) 全5回	中央公民館他	中央公民館 (生涯学習課)

○各学校・園主催 182事業

- ・文化祭(合唱コンクール、文化発表会等)
- ・学校公開
- ・学習参観
- ・音楽集会
- ・合唱発表会
- ・校内絵画展
- ・PTAセミナー
- ・奉仕作業
- ・講演会
- ・給食試食会
- ・交通安全教室
- ・引渡訓練
- ・芋ほり、稲刈り体験
- ・持久走大会
- ・親子行事

3 参加者数

○各課主催 69,345名

○各学校主催 24,376名

4 事業周知

○事業一覧表の作成 ○シンボルマークの活用

○広報まえばし、市ホームページへの掲載

## ■「まえばし学校フェスタ2018」

1 実施日 平成30年11月17日(土)・18日(日)

2 会場 前橋プラザ元気21

3 内容と児童生徒参加者数

### <ステージ発表>

#### 【内容】

\*オープニング <大胡小学校>

- ・アンサンブル演奏
- ・合唱
- ・音楽劇
- ・マーチング
- ・海外研修帰国報告会
- ・英語スピーチ(市1位入賞者)
- ・読書感想文(最優秀賞)

\*フィナーレ <市立前橋高校吹奏楽>

【参加者数】個人発表(3名)、小学校(11校:378名)

中学校・特別支援学校(5校:86名)

市立前橋高校(20名)、海外研修帰国報告会(50名)

合計 537名

### <展示発表>

#### 【内容】

- ・絵画、書道、立体作品等  
小学校48校:397点、中学校・特別支援学校22校:306点、  
市立前橋高校22点
- ・「理科自由研究」優秀作品展示:21点

合計 746点

- ・「学校自慢写真」(市立学校・園、附属小中特別支援学校、共愛小中学校)

### <ブース発表>

#### 【内容】

- ・茶道ブース
- ・演劇ブース(学級劇の上映)
- ・学校(園)パネルブース
- ・紙芝居ブース
- ・パソコンブース
- ・工作教室ブース
- ・ロボコンブース
- ・海外研修事業ブース(研修生の発表)
- ・児童文化センターブース

【参加者数】

幼稚園1園、小学校1校、中学校7校:37名

合計 9校(園):37名

### <中学生ボランティア>

- ・読み聞かせ(2階こども図書館)
- ・ステージ発表司会進行

【参加者数】

中学校2校:10名

【各種発表及びボランティア総参加者数】 合計 1,330名

4 来場者数 2日間合計

合計 4,706名



## 5 市内6ロータリークラブとの共催

○参加人数	・前橋ロータリークラブ	98名
	・前橋西ロータリークラブ	11名
	・前橋東ロータリークラブ	15名
	・前橋北ロータリークラブ	11名
	・前橋南ロータリークラブ	24名
	・前橋中央ロータリークラブ	10名

\*3日間 のべ参加人数

### ○ご協力いただいた内容

- ・前日の準備 会場設営、作品展示
- ・当日の運営 ステージ発表児童生徒のエスコート、参加賞の袋詰め、3階会場受付、スタンプラリー受付、会場監視、来場者案内、作品撤収、会場片付け
- ・その他 消耗品、各種参加賞、ボランティア生徒用昼食等の手配・購入



## 6 フェスタを終えて

### (1) 各学校より

- ・保護者や市民が、各校の教育活動に興味関心をもったり、各校の熱心な取組を理解したりする有効な機会だと思う。
- ・学校外で児童生徒の作品が展示される機会は少ないので、とても良い機会であるし、児童も保護者も喜んでいる。
- ・小学生から高校生までの作品があり、子供たちの成長が感じられてよかった。
- ・文化系の児童生徒が活躍できる場を与えていただきありがたい。
- ・学校自慢写真は、各校の特色がよく表れていてよかった。
- ・海外研修に参加した中学生の資料や発表がすばらしかった。説明も積極的に行っていた。

### (2) 参加児童生徒より

- ・発表後、先生方や保護者の方から大変ほめられ、積極的にチャレンジすることの良さを実感できたと思う。「緊張したけど気持ちよかった」など、精神面での充実を口にする子供が多かった。
- ・うれしそうに親子で会話をしている姿が見られ、子供やその家族の方の喜びを感じた。また、子供のこれからの意欲につながっていくことを感じた。
- ・ブース発表において、市民の方（特に小学生）が積極的に中学生に声をかけてくれて大変うれしく感じた。生徒の達成感も高まった。

◇今年度はブース発表で幼稚園の参加があり、幼稚園の作品から高校の作品まで幅広く展示することができた。また、今年度も各学校の教育活動の成果を広く保護者や市民に知らせる機会となった。来年度も、さらに多くの方々に来場していただき、児童生徒の活躍を見ていただくとともに、各校の学校文化を知っていただけるよう工夫していきたい。



平成30年度学区別教育懇話会の実施結果について

(1) 趣 旨

学区別教育懇話会は、市内7学区において、単位PTA活動の充実と活性化を図ることをねらいとし開催する。教育懇話会Ⅰでは、講演会や代表校PTAによる実践事例発表、グループワークなどが行われ、教育懇話会Ⅱでは、教育長、教育委員、両次長、関係課長が出席し、保護者と学校長と教育委員会事務局とで意見交換を行うことで、三者の連携を深め、本市の教育の充実を図る。

(2) 参加者

教育懇話会Ⅰ	各学区の単位PTA役員等、市P連会長、市P連事務局担当
教育懇話会Ⅱ	PTA会長・本部役員、学校長、市P連会長、教育委員、市教育委員会事務局関係者

(3) 開催日程：10月中旬から11月下旬にかけて

(4) 各学区別教育懇話会の内容・話題

学区	開催日・会場	所属校	教育懇話会Ⅰの主な内容	教育懇話会Ⅱの主な話題
1	10/30 総合福祉会館	桃井小、中川小、城南小、 城東小、若宮小、附属小、 第一中、みずき中、 附属特別支援	1. 講演会 「ケータイ (i モード) からスマホへ」 ～子どものネット利用変化と課題～ 講師：下田 博次 様 (群馬大学名誉教授)	①地域の安全性 (危険性) について保護者等から意見が寄せられた場合の対応 ②教職員のゆとりを確保するためにPTAが支援できること
2	10/31 総合福祉会館	敷島小、岩神小、細井小、 桃川小、荒牧小、原小、時沢小、 石井小、白川小、 第三中、南橋中、鎌倉中、 富士見中	1. 講演会 「ネット社会を生きる子供たちと大人に求められること」 講師：下田 太一 様 (青少年メディア研究協会) 2. グループディスカッション	①家庭で抱えているネットに関する問題や疑問 ②学校や行政に求められること
3	11/19 総合福祉会館	天川小、広瀬小、山王小、 わかば小、上川淵小、 下川淵小、第五中、第七中、 春日中、広瀬中	1. 実践事例発表 (上川淵小・春日中) 2. 学習会：ぐんまの親の学びプログラム 「ワクワク子育てトーク」 講師：瀬山 卓穂 様 (県生涯学習センター)	※3班でグループディスカッション (共通) 通学路における安全確保対策 ①部活動の適正な運営及び部活動がない放課後や休日の過ごし方 ②PTA役員の在り方とPTA活動の運営、及び展開 ③ネット社会に生きる子供の現状とその対処
4	10/29 総社公民館	総社小、勝山小、元総社小、東小、 元総社南小、元総社北小、 大利根小、新田小、清里小、 第六中、東中、元総社中、箱田中	1. 提案発表 (東小PTA) 「PTA改革と地域活性化 …そしてコミュニティ・スクール」 2. グループディスカッション	①懇話会Ⅰの提案を受けての話し合い ②小中学校の交通安全 ③学校区
5	11/13 総合福祉会館	桂萱小、桂萱東小、桃瀬小、 芳賀小、桃木小、 特別支援学校、芳賀中、 桂萱中、附属中	1. 学習会：ぐんまの親の学びプログラム 「ワクワク子育てトーク」 (思春期の子供の気持ち、スマホ・ケータイとの付き合い方) 講師：齊藤 裕徳 様、根岸 登 様 (中部教育事務所生涯学習係)	※8班でグループディスカッション ○地域のコミュニティ ・地域のつながりと防災 ・地域と学校の協働 ・地域のつながりと子供の安全 ・避難場所の認識
6	10/16 城南公民館	永明小、駒形小、荒子小、 大室小、二之宮小、筑井小、 木瀬中、荒砥中	1. 実践事例発表 (荒子小・木瀬中) 2. 講演会 「子どもの自立に向けて私たちにできることって何？」 講師：渡邊 照子 様 (TERUコミュニケーションステージ 主宰)	※3班でグループディスカッション ○教職員のゆとり確保の先に見えるもの ～学校と家庭はどう変わるのか?～
7	11/22 大胡公民館	大胡小、滝窪小、金丸分校、大胡 東小、宮城小、粕川小、月田小、 大胡中、宮城中、粕川中	1. グループワーク (3テーマ×3班) ①不登校・対人関係 ②携帯・スマホ・オンラインゲーム・SNS問題 ③防犯・安全	①子供たちを取り巻く人間関係 ②高度情報社会におけるメディアとの向き合い方 ③子供を守る防犯活動

## 【教育懇話会Ⅱの主な意見】

### 安全防犯・交通安全・通学路

- 学校区の危険箇所については各校で点検等を行い、学校、家庭、地域で情報共有を図り、市の交通政策課や自治会長等とも連携しながら対応していくことが必要である。
- 倒壊の恐れがある通学路のブロック塀については、個人宅のものであるため、学校や自治会では対応しづらい。
- ハザードマップを作成し、学区ごとの情報をまとめて、学校、保護者、地域で共有できるとよい。
- 地域に安全見守り隊があり、子供たちの登下校の安全対策を推進している。
- 自転車の乗り方について、高校から自転車を多く乗るようになる中学生に対し、どう指導していけばいいのかPTA会長と相談して進めたい。
- 交通指導員のなり手が見つからず苦勞している。
- 防災教育の観点から、全ての危険を取り除くだけでなく、子供たちの危険回避能力を育てることも必要である。子供たちが自ら学ぶ機会を奪わないようにし、大人になったときに自分の力で歩いていけるようにしていくことが必要である。

### 教職員のゆとり確保

- 家庭での役割と地域の連携が明確になるとよい。
- ゆとり確保は、仕事量を減らすということがあるが、心のゆとり確保も必要だと思う。若い先生たちは、保護者から応援してもらえると精神的にゆとりが持てるので、PTAにも協力していただけるとありがたい。
- 先生たちだけでなく、PTAも忙しい。学校、PTAのゆとり確保のためには、学校、家庭、地域の連携が欠かせない。
- 学校側にゆとりができてほしいと思っているが、部活動の時間が少なくなってしまったことの穴埋めは、家庭や地域で行っていく必要がある。

### 部活動

- 部活動がない放課後や休日の過ごし方については、時間をうまく使えず、大型ショッピングモール等で過ごす生徒もいるが、その反面、地域の行事に参加する中学生が増えたという声も聞かれる。

### ネット問題

- ネットやスマホについて、親自身も必要な機能を使うのが精一杯で、子供への指導ができない。
- 学校には保護者がネットやスマホ問題を他人事ではなく、自分事として考えられるような講演会を実施してもらいたいが、実際にそのような会を開催しても、参加者が少ないという現状もある。
- スマホを持たせないことで、仲間外れにされないかという心配がある。
- 何でも相談できるよい親子関係を築くこと、ルール作りをすること、親子で一緒に考えること、問題があったときに一人で抱え込まず、家族で一緒に解決できる家庭づくりをすることが大切である。

### コミュニティ・スクール

- 学校の教育目標を関係各所が共有することで、建設的な意見が集まり、協働していくことができる。
- 「学校を支援する」というところではこれまで通りである。学校を核とした地域づくりのため、地域が学校にどう協力できるか、学校が地域にどう協力できるかについて考え実践していくことが大切であり、やりがいのもてるような形から、進めていけるとよい。

### PTA活動

- 共働きの家庭も増え、家庭数も減少している中で、PTA活動に協力できる人を集めるのに苦労している。PTAとして学校に協力したい気持ちがあるが、多くの保護者が参加することは難しい。PTA活動を精選して、保護者の総意で行っていききたい。
- 活動を見直しつつも、地域の方々の協力を得ながら子供たちのために活動の充実を図っていききたい。
- PTAはボランティアであるが、半強制加入であり、学校としてはPTAがないと困ると思う。PTAは大人の楽しみの中にもあり、子供たちの教育を担うという義務的な部分も兼ね備えていると考える。
- PTAのお知らせ等が全家庭に行き渡らない現状があるので、おれんじメールや学校ホームページを活用してみてもどうか。
- 自校のPTA活動を充実させるために、県P連や市P連の行事を精選してもらいたい。

### 不登校・対人関係

- 不登校の子供たちに寄り添った指導をする高等学校が増えているようである。
- 学校との密な連絡と、学校の熱心な対応によって、不登校解消につながった。
- 人間関係づくりが苦手な子供が増えている。コミュニケーションがとれず、大人になったときに人との関わり方がうまくできるか心配である。

## 第 7 1 回前橋市成人祝

1 日時・会場 平成31年1月13日(日) 12:00~13:50  
ヤマダグリーンドーム前橋 メインイベントエリア

2 主 催 前橋市、前橋市教育委員会  
(企画運営 第71回前橋市成人祝企画運営委員会)

※成人祝企画運営委員会について

成人祝のプログラム構成や出演者の選定は、市内各中学校の卒業生代表23名で構成される企画運営委員会を設置し、8月から月に1~2回程度の会議を重ね検討しております。成人祝当日も企画運営委員が中心となりプログラムが進められます。

3 該当者数 3,450人(平成30年10月24日現在)  
【内訳】男性:1,752人(うち外国人141人)  
女性:1,698人(うち外国人109人)  
※昨年度出席者数:2,333人

### 4 プログラム

11:30~	受付
12:00~12:20	アトラクション(企画運営委員作成のビデオ放映) 『踊るところとん大捜査線~あの鐘を鳴らすのはあなた』
12:20~12:40	セレモニー 前橋市の歌「赤城嶺に」斉唱 あいさつ 前橋市長 祝辞 前橋市議会議長様 来賓紹介(役職ごとに紹介) はたちのメッセージ 新成人代表者1名
12:40~13:50	はたちのつどい 書道パフォーマンス(市立前橋高書道部) 音楽ライブ 景品抽選会『C'mon, baby マエバシ』
13:50	終了

「ふれあい図書館まつり」の開催結果について

前橋市立図書館

1 趣旨

読書週間(H30. 10. 27-11. 9)及び「まえばし教育の日」事業(H30. 10. 16-11. 15)にあわせ、身近で親しみやすい図書館をめざすとともに、図書館の利用促進を図ることを目的に「ふれあい図書館まつり」を開催した。

2 期間

平成30年10月18日(木)から11月18日(日)まで

3 内容

(1) 講演会

- ①文化講演会 テーマ「松平家記録から読み解く武士たちの実相  
～幕末期、人々は時勢の推移や変化をどのように知ったのか～」
- ②特別講演会 テーマ「前橋の旧町名」

(2) ブックリサイクル

図書館で不用になった図書を利用者に無償で配布

(3) ぷちシネマ

DVDの上映会

(4) 常設展特設コーナー「図書館のサービス～こんなこともやっています」

2階展示室で開催中の常設展「前橋市立図書館100年のあゆみ」内に特設コーナーを設置

(5) 郷土資料室ミニ展示「郷土おもしろ本、集めました。」

郷土のおもしろい本をピックアップし、その紹介コメントやよもやま話とともに展示

4 結果概要

(1) ①文化講演会

- 講師 駒形義夫氏(元前橋市立城東小学校校長)
- 開催日時 10月20日(土)午後1時30分から午後3時30分まで
- 会場 図書館地下講堂
- 入場者数 70名
- 概要 激動の幕末期に藩士や庶民がどのように信頼できる情報を手に入れていたかを、詳しい資料を用い、また実物を紹介しながら読み解いた。

②特別講演会

- 講師 倉地啓仁氏(『旧町名への旅』著者、市民講師)
- 開催日時 11月18日(日)午後1時30分から午後3時30分まで
- 会場 図書館地下講堂
- 入場者数 59名
- 概要 かつて前橋市内に存在した町名について、地図と写真をプロジェクターで投影しその名前の由来や歴史などを紹介した。

(2) ブックリサイクル

- 開催日時 11月1日(木) 11月11日(日)の2日間

両日とも①午前 10 時 30 分から午後 0 時 30 分まで

②午後 2 時 30 分から午後 4 時まで

■会場 図書館地下講堂

■参加者 4回で344名の入場者があり、3,965冊の図書が再利用された。

(3) ぷちシネマ

①「ボブという名の猫 幸せのハイタッチ」

■開催日時 10月18日(木)午後1時30分～午後3時15分

■参加者 30名

②「綾小路きみまろ爆笑！最新ライブベストセレクション2」

■開催日時 11月1日(木)午前11時～午後0時20分

■参加者数 29名

(4) 常設展特設コーナー

■開催期間 10月18日(木)～11月18日(日)

■会場 図書館2階展示室

■概要 前橋市立図書館の特徴である図書館物流ネットワーク、配本サービスなどを写真や解説パネルにより紹介した

(5) 郷土資料室ミニ展示「郷土おもしろ本、集めました。」

■開催期間 10月17日(水)～12月9日(日)

■会場 2階調査相談室前

■来場者数 182名 貸出冊数16冊(11月26日現在)

■概要 通常書架に並んでいる郷土資料を展示することにより、資料をPRするとともに貸出しにつなげることができた